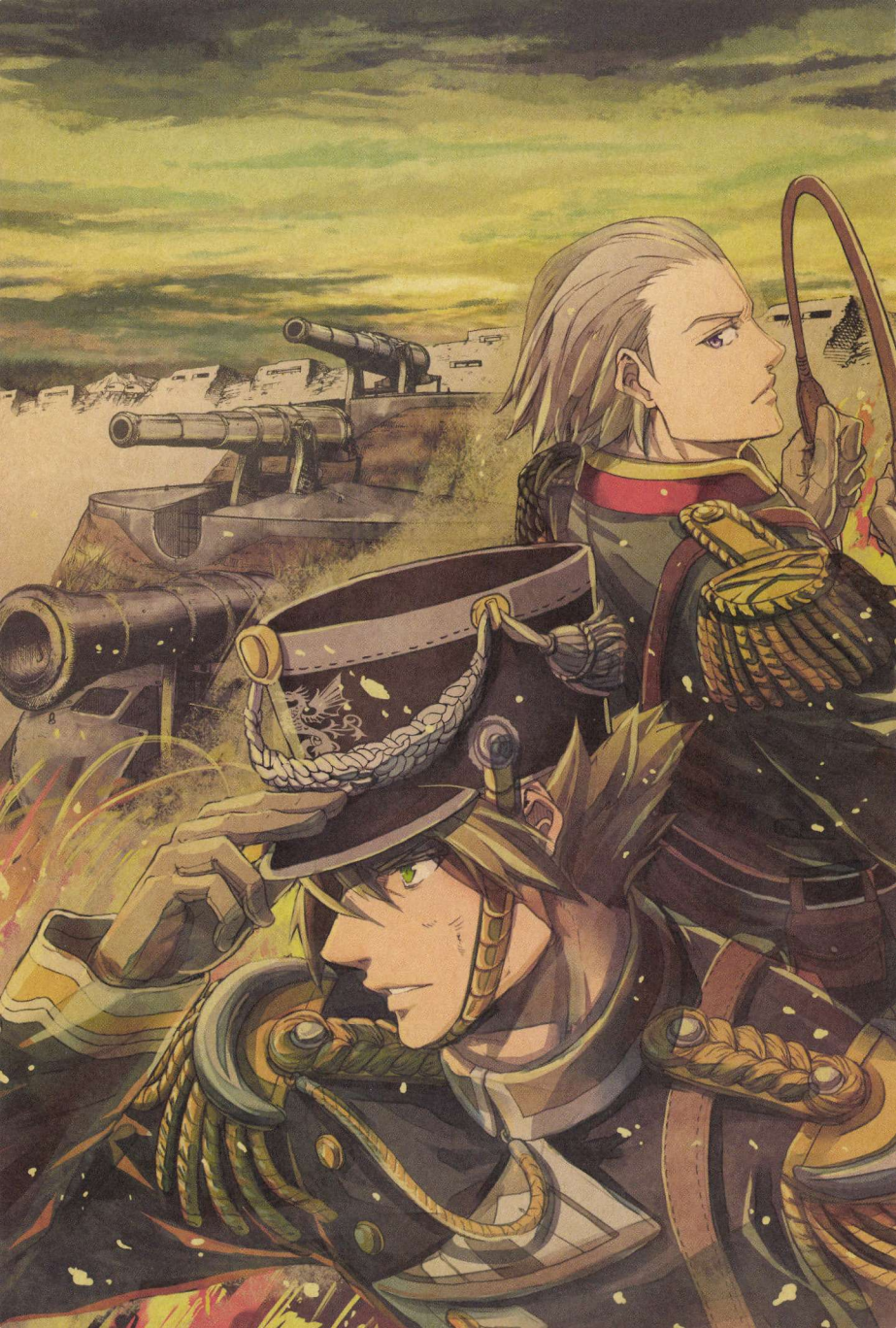

軍靴のバルツァー
中島三千恒
NAKAJIMA MICHITSUNE
4
r August Binkelfe

軍靴のバルツァー

4

中島三千恒
NAKAJIMA MICHITSUNE



BALTZAR MILITARISMUS

Begiraubidaunc



軍靴のバルツァー

4

中島三千恒
NAKAJIMA MICHITSUNE





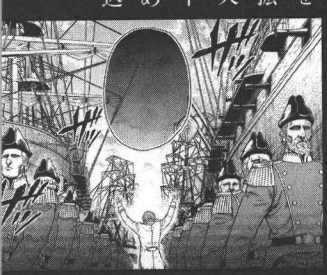
物語
Eine Geschichte

19

世紀帝国主義時代。軍事大国ヴァイセン王国から同盟国バーゼルラントの士官学校へ武官交流として赴任することになったバルツァー少佐。彼への指令は軍事後進国であるバーゼルラントの軍政改革を推し進めるというものであったが、平和に馴れきった教官や生徒達を前に戸惑うばかり……。



そんな中、バルツァーは陸軍大学時代にクーデターを煽動し自死したはずの旧友・リープクネヒトと再会する。彼はバーゼルラント第二王子フランツの側近として取り入り、対立する第一王子アウグストを失脚させるための武装デモを画策したが、バルツァーはその拡大を未然に防ぐ。しかし南の大帝国エルツライヒを背景にリープクネヒトは更なる奸計をめぐらし、ついには他国を巻き込んでの戦争が勃発する!?



登場人物

Ein Charakter



ライナー・アウグスト・ビンケルフェルト

バーゼルラント王室第二王子。王立士官学校訓練長。



ベルント・バルツァー

少佐。バーゼルラントへ軍事顧問兼士官学校教官として派遣される。



フランツ・テオドール・ビンケルフェルト

バーゼルラント王室第二王子。弟と対立。



ルドルフ・フォン・リープクネヒト

元ヴァイセン陸軍第二近衛連隊長。バルツァーの旧友で稀代の煽動家。



ユルゲン・ゲオルク・フォン・ブライトナー

騎兵科3年。



ヘルムート・マルクス・フォン・バッベル

騎兵科3年。



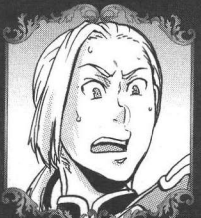
トマス・リンケ

歩兵科1年。



マルセル・ヤンセン

歩兵科1年。



パウル・ブライトナー

砲兵科2年。



ディーター・シュトルンツ

砲兵科2年。

CONTENTS

第16話　偉大な収穫――7

第17話　立身出世――45

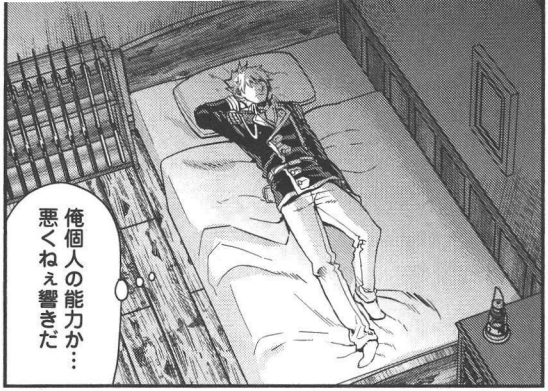
第18話　士官の矜持――79

第19話　秋の嵐――117

第20話　軍国軍人――153

特別編――197


ヴァイセンではなく
お前個人の能力を
見込んでの願いだ

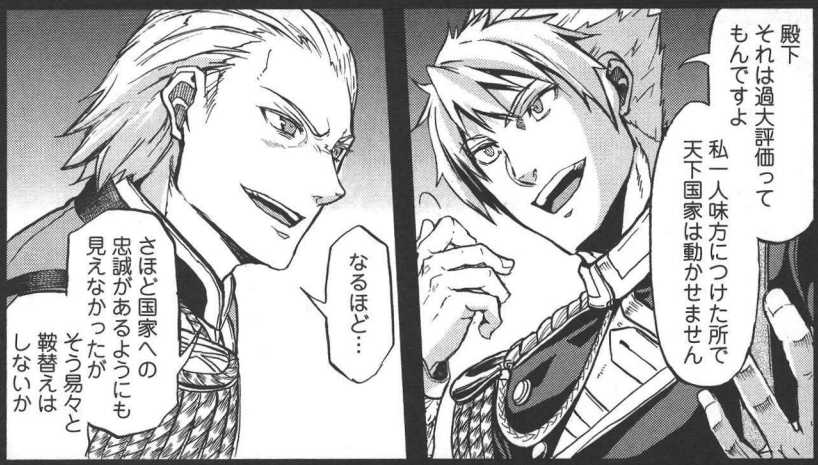

俺個人の能力か…
悪くねぇ響きだ

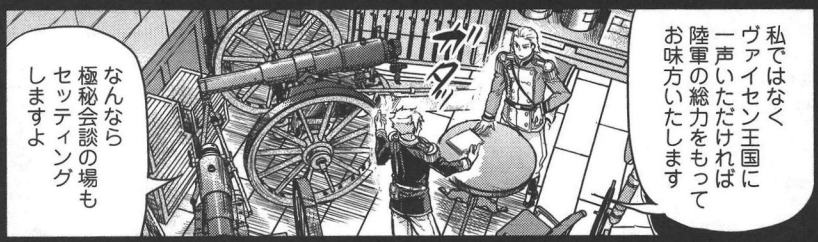

権力者の片腕として
戦場を睥睨(へいげい)し
軍の隅々まで
威令を行き
わたらせる


本来 数十年かけ
組織の階を昇り
はじめて手が届く
高みの領域だ
惜しい返事を
しちまったかな…


……いや


……君はよほど戦争が好きなように見えるな
まさか…
君はやはり僕と理想を共に出来る人間なのだと確信したよ
冗談じゃない
軍人の技術と力は全て国家と組織に捧げるためにある
自分が動かす戦争を望むわけねぇだろ
だから俺の返答は決まってる
大変有難いお誘いですが…


殿下
それは過大評価ってもんですよ
私一人味方につけた所で天下国家は動かせません
なるほど…
さほど国家への忠誠があるようにも見えなかったがそう易々と鞍替えはしないか


私ではなくヴァイセン王国に一声いただければ陸軍の総力をもってお味方いたします
なんなら極秘会談の場もセッティングしますよ

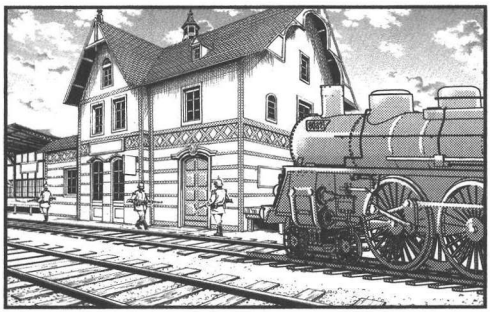

…その返事が即座に返ってくる所を見ると軍国はよほどこの話を待望していたようだな
これでいいんだ…
第二王子の真意は得た
後はこの不穏の種を軍の上層部に献上するだけだ


第16話 偉大な収穫
わかった…
お前の助言
とやらに従おう
バーゼルラント
第二王子が
非公式での会談を
望んでいる旨
本国に伝えろ


しかし
期待外れだ…
貴様は案外
小胆なのだな
はは…
どーも
バーゼルラント
駐在武官より
報告です
ほう…
王族を極秘会談に
引きずり出すとは
大した猟犬ぶりだ
アウグスト王子は
社交の場には滅多に現われない
世間知らずの青年と聞くが
…さて どれ程のものか…

この会談を
如何に動かすかが
今後の鍵となる

もてなしの準備は
抜かりなく手配しろ



首都までは
一般車両での
移動となります

本来なら御用運転
させる所ですが
極秘という事で
どうかご容赦を…



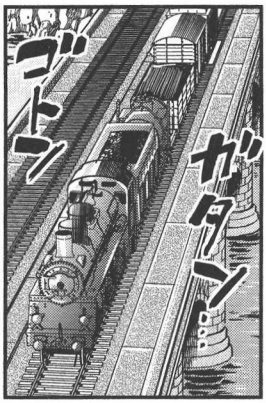



先日の誘いを
無下にした直後に
エスコート役とは…
しかも
後ろに尾行が
バッチリと…
うわぁ…
ゴソ
ゴソ
乗り換えで
まくか…
ガタン
まずは
車両を移して
様子見だな
ガタン
ドン
っと！
失礼……
!?


は…
はぁ!?


スタ
スタ


これは
奇遇だな


ゴトン
ガタン…


はあああ!?
お隣
失礼します
ガタッ


くそ…
どうなってんだ
イラ
イラ
俺達の行動は
筒抜けってか？
ギリッ


冗談じゃねぇ


この野郎…
何が目的で接触
してきやがった


王族を
エスコートするのに
その仏頂面は失礼と
言うものでは？
うるせぇよ


そういう
悪目立ちする
振る舞いは
いただけないな
その悪目立ちする
白コート姿で
言われたくねぇな


一応僕はこれでも
音楽家だからな
面白い
冗談だな
君こそ私服のつもりなら
その支給品のような
コートはやめた方がいい


あ？
喧嘩売ってんのか？
テメェ…
おい


な…何を聞いて!?
面白い方だ


エルツライヒとの同盟に向けた議員の抱きこみは順調か？
は!?


残念ながら順調ではないですね 鉄道敷設の件が効いてるというのもありますが…
バーゼルラント議員達の頭を悩ませているのは同盟破棄を切っ掛けに軍国と敵対関係になり軍事侵攻を受けかねないという懸念です
この不安感から帝国派の中でも反軍国に踏み込めない層が多いようです


そりゃそーだ だから仲良くしましょーねっていう話を進めてたんだ


しかしそれは杞憂というもの
軍国側にも軍事的威圧は続けられない理由があります


この地図をご覧下さい
おい！
続けろ


今の軍国を取り巻く
周辺国の実情は
概ねこのような
状態です
先の紛争地ノルデントラーデ公国の
独立承認に伴う占領保護問題
西側モレイユ共和国の
衛星共和国となった諸邦と
ヴァイセン北部同盟の軋轢
モレイユ共和国とは
50年来の敵対関係
Weißen
Baselland
東側の帝国
ラトフとの
海峡運行問題
バーゼルラントとの同盟
横長に伸びた
ヴァイセンの国境線は
隣接した国々との軋轢が
絶えません


特に重要なのは
先の戦争後占領し
併合準備中の
ノルデントラーデと
その周辺海域の問題
重要度＝危険度で考えれば
バーゼルラント問題は
軍国にとって3～4番目
といったところでしょう


とまぁ…議員方に
これを地道に説明
している状況ですね
説明？
丸め込むの
間違いだろ
なるほど


我が国に強気で同盟を
持ちかけてはいても
実際は背後の安全維持に
苦心している…と


いや 待って
下さいよ
まずい…奴に
耳を貸じている!?

ノルテントラーデは
戦後復興も進んでるし
ホルベックとの国交も
回復してます
奴の言うような
懸念なんて
ありませんよ

殿下は自国の安全を
第一に考えるべきです

私はここで
乗り換えです

あ？

短い時間でしたが
有意義なお話が
出来ました
感謝します

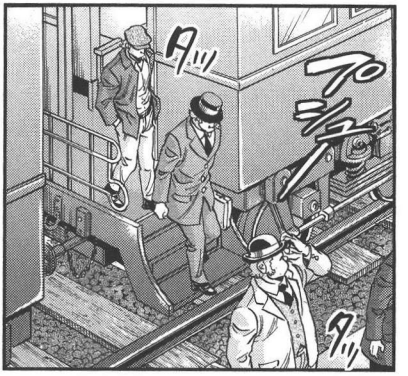
良い旅を

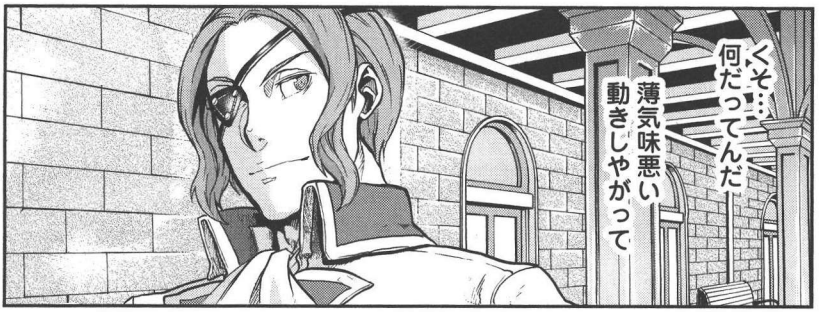
うるせぇ

大事な会談前に
余計な情報を
ベラベラと…

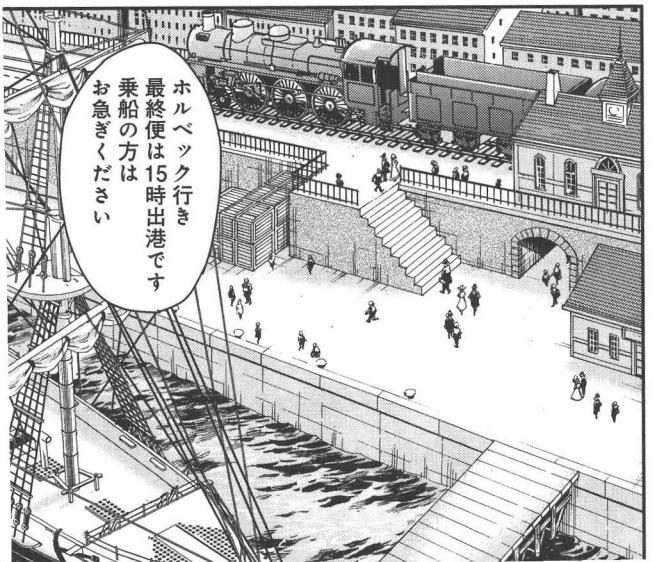
…連中の尾行は
接触が目的か？


諜報員も降りたか…
奴をマークしてたのか


タッ
プシュー
タッ


くそ…何だってんだ…薄気味悪い動きしやがって


ヴァイセン北部
ハーグ港


ホルベック行き最終便は15時出港です乗船の方はお急ぎください


駅から港に直行とは便利だな
10年前と随分様変わりしたものだ
ホルベック行き最終便まもなく出港
乗船の方はお急ぎください
ゴアアアン…
あれ…今日の便ってもう最終だよな？
ああそうだけど
おい…じゃあれ何だ？

どれだ？

ほら
あの馬鹿
デカイ船…

…えっと…

…海賊？

とか？

ははっ！
いや
そりゃあ
無いだろ流石に

Quelle-Baden

ここが会談の
場所になります

保養地
クヴェレバーデン
（首都から西約200km）


会談までの一週間
こちらのホテルで
お待ちください
一週間
待てだと？
首都でのトラブルの影響で
参謀総長閣下の到着が
一週間遅れるとの連絡が
先ほど入りまして…
しかし
ご安心を
古代帝国様式の
高級スパ！
そして
カジノ！
クヴェレバーデンは
王侯貴族ご用達の
高級保養地として名高い
大陸随一の温泉地です
歴史は古く千年前の
大帝国時代まで遡り
皇帝も愛して止まぬ
地であったとか…
心ゆくまで
余暇を満喫
して下さい！


くるっ
は…
タッ
タッ
ど…
どちらへ!?
一週間待つなど
冗談じゃない!!
…オレは遊興のために
来たわけではない
今からでも俺が直接
首都に向かった方が
早かろう!!
ガッ
くっ…
開かない!!
ちょ…っ
お止め
下さいって!!
ガシッ
ガチャ
ガッ

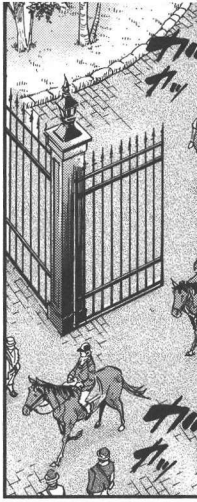

会談当日まで
当ホテルは
出入り禁止の為
施錠いたしました
お部屋にご案内
いたします
痛って！
軟禁までして
貴様は何を
企んでいる？
まさか…！
私如き木っ端軍人が
何か企むなんて
とんでもない!!
密偵に極秘会談を
嗅ぎ付かれないように
上層部も神経質に
なってるだけ…かと！


……
ご安心を
万一
何かあったら
私も出来る限り
フォローします
誓います
……
パッ
ゲホッ
ゲホッ
……その言葉
信じるぞ
頼むから
早く来て
くださいよ
うぅ…
参謀総長
閣下ぁ～
三日後


野暮用の片付けに
少々時間を
とられましてね
お待たせ
いたしました
お会い出来て
光栄です
アウグスト殿下
下がれ
失礼します!!


ベルント・バルツァー
お前は残れ
ピク
はっ！
用向きのみでは無粋というもの
まずは狩りでもいかがですかな？


バウッ!


カッ
カッ


国境で隔たれても
狩猟の作法は同じ
文化を共にした
同胞である事を
再確認出来る
これ程
素晴らしい事は
ありますまい


仰る
通りです
…おっかねぇ
牽制会話だな


バウッ!
バウッ!


ガサ
ガサ


これが王族への接待ってやつか
まもなく勢子が獲物を追い出します

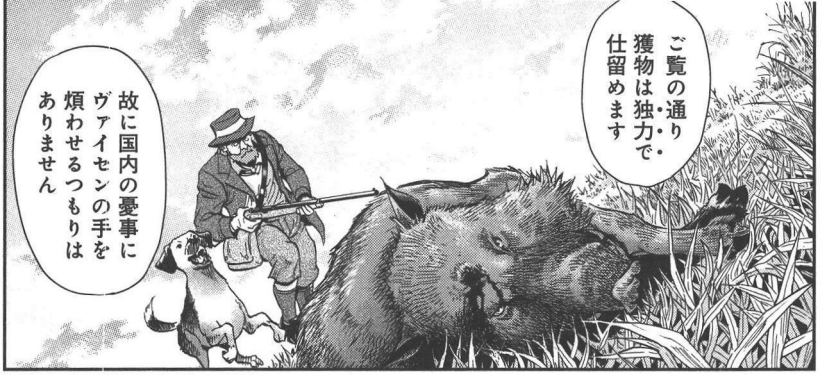

今日は大物も居るようです
まずは右手の林より
第一射目はアウグスト王子からどうぞ


……


預かれ
えっ？


その銃を借りたい
…は！
お気に召しませんでしたか？
いえ…
ですが美しい逸品物の銃は見飽きています
私は軍国式ライフルの洗練された工業美こそ好ましく感じられるのです
それは嬉しいお言葉です
…そういえば我が国の技術支援開始から三ヵ月経ちましたかな
その間でどれだけ軍国式銃を使いこなせるようになるものか披露なされると？
そう見ていただくのも良いかと
ば…馬鹿何こんな時にハッタリかましてやがるんだ…！


ス…
ガッ
ガッ
ズガン
パァ
おっ！
パチ
パチ
オオ
ご覧の通りです


ご覧の通り
獲物は独力で
仕留めます
故に国内の憂事に
ヴァイセンの手を
煩わせるつもりは
ありません


なるほど
いきなり
それかよ!!


しかし バーゼルラントは
帝国と軍国の両方を天秤にかけ
軍事援助を受けている立場です
対等な同盟関係を
求めるのであれば
相応の対価が必要
何か差し出せる
ものが?




…
うわぁ…
転がされてんなぁ


そう難しく
考えることは
ありますまい
歴史ある物には
実用を超えた
価値がある


700年の歴史を誇るバーゼルラント王家の名は対価として上等です
援軍の派兵という形でわが国の軍事行動を承認していただくというのは
いかがですか？


軍事行動の承認…
……
他国の王族が承認したというだけでも彼らの軍事行動に対する世論は変わるわけだ


軍国の行う侵略戦争の片棒を担げということか…


……
…では 他国から攻撃を受けた場合に限定するというのは？


…！
それならば…




ヴァイセンの有事には
必ず盟友として
援軍を派遣する事を
お約束します


それは
心強い
ウウ…
シュ


……


書記官
ただちに記録を
サインなど
いただけますか？
勿論です


おいおい
大丈夫か
そんな安請合い
しちまって…
サラ


ガシャ
ガシャ


急報です
ザッ
ザッ
ザッ


はっ！


構わん
読み上げろ


何だ…？


ホルベック海軍は
戦艦による
海上封鎖を行い
ヴァイセン軍の
ノルデントラーデ
公国からの即時撤退
及び同国北部地域の
継承権を主張!!
ヴァイセン議会は
これを事実上の
宣戦布告と見なし
対ホルベック戦争
特別予算案を承認
現在すでに
国内兵力を動員し
ノルデントラーデ方面に
展開準備中とのこと

戦争です


ホルベック王国
首都ゲントハーグン
良くぞいらしてくださいました
最後の商船で船旅を満喫してまいりました
海上封鎖もすでに完了しているとか…
迅速な作戦行動実に素晴らしい
エルツライヒの女帝は先の密約を覚えておいででしょうな？
……


勿論です
ヴァイセンは
我等両国にとって
共通の敵
先の密約の通り
ホルベックへの
軍資金援助は
手配済み
万が一 敗戦しても
エルツライヒが
国際会議を開き
ノルデントラーデに
有利な講和へ導く
北方の勇者
ホルベック軍の力を
軍国に知らしめる時です

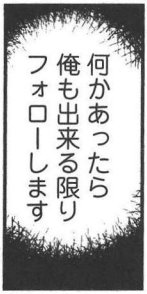

戦争…
だと？


このタイミング…
そうか…


保養地に釘づけにされてた二日間
全ての情報が遮断されていた
全てはその間に決まっていたんだ


王子の警戒心が後継争いと内政干渉に向いている所を逆手にとったわけだ
同盟国として共に戦ってくださいますな？


……
いや…そんな睨まれても


何かあったら俺も出来る限りフォローします


…とか言ったような
でも…流石にこれは一介の佐官如きが口を挟める話じゃない…よな


しかし遠征に
バーゼルラント
正規軍を派遣なんて
兵の質 状況共
現実問題無理だろう…
ああ…クソっ！
失礼ながら…
先ほどの密約は
アウグスト王子が
王位を継いだ後の
話では…？
ほう
アウグスト王子が
現時点で動かせるのは
せいぜい直轄の
士官学校の人員程度
という所でしょう
しかも揃いも揃って
腑抜けた子供ばかりで
軍備も惰弱
戦力を期待するなら
第二王子の政権掌握後
相応の軍備の拡充が
完了してからでなくては
話になりません
くそっ！
これは貸しだぜ
クソ王子!!
援軍として
送られても
足手まといかと
それで
十分だ

第二王子直々の遠征参加に加え士官学校生の随行

いかにも健気な援軍ではないか

……

もちろんバルツァー少佐にも同行してもらう

至急学校に戻り部隊の編成を済ませて来い

…は！

学校で部隊の編成…!?

今日は実に有意義な会談だった




軍靴のバルツァー

第17話 立身出世


まったく
この子は…


たまに帰ったと思えば
1日中机に齧り付いて
本の虫かい？

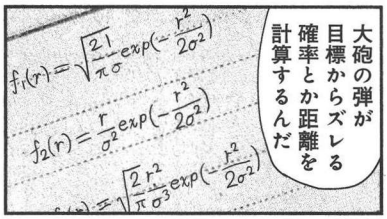

最近 例の顧問が
やたら難しい課題
出してきてさぁ…


…で
そんなに勉強して
なるのは兵隊か？
くだらんな
ワシの時代じゃ皆
徴兵逃れるために
煙草の煮汁を飲んで
病気のふりしてた
もんだがなぁ…


第17話 立身出世
ここが俺の実家
学校から歩いて30分の
市街地のパン屋だ
祖父と両親
兄姉弟妹が一人ずつ
俺含めて8人家族
つまるところ
超平凡な
一般家庭だ


帰った時くらい
店の手伝いして
親孝行したらどうだ
ここって
もう兄貴の店じゃ
なかったのか？
よじ
よじ


ねぇ 兄ちゃん
何描いてるの～？
ん？
これか
弾道の
確率密度だ
かくりつ
みつど…？


大砲の弾が
目標からズレる
確率とか距離を
計算するんだ


わかんない！
そりゃそーだ


どれどれ
俺が見てやろう
あっ
返せよ！


なんだこりゃ？
小難しい事
やってんなぁ～
なんで兄ちゃん
こんなに勉強して
テストで万年2位
なんだろうな


だ〜〜〜
も〜〜〜〜!!
2位でも結構スゲーんだよ!!
知りもしないくせにとやかく言うな!!
うお 怒った
お 怒った!


ほら みんなとお食べ
え〜 いらねぇよ
いいから!

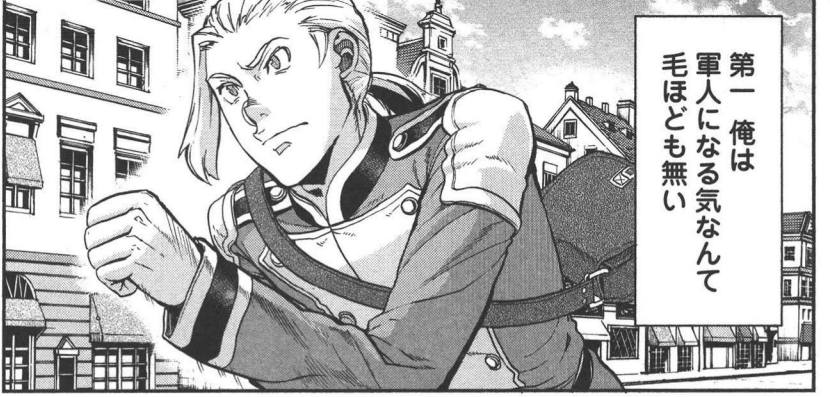

ちょっとお待ち!
これ包むから持って行きなさいな


くそ…! 寮で勉強した方がマシだ! 帰る!
ディーターあしらいながら


自分の程度くらい自分が一番良くわかってんだよ
タッ


ったく… 万年2位で悪かったな…


気をつけなさいよ!
お客さん見てるから!!



俺の目当ては
退役軍人官吏登用制

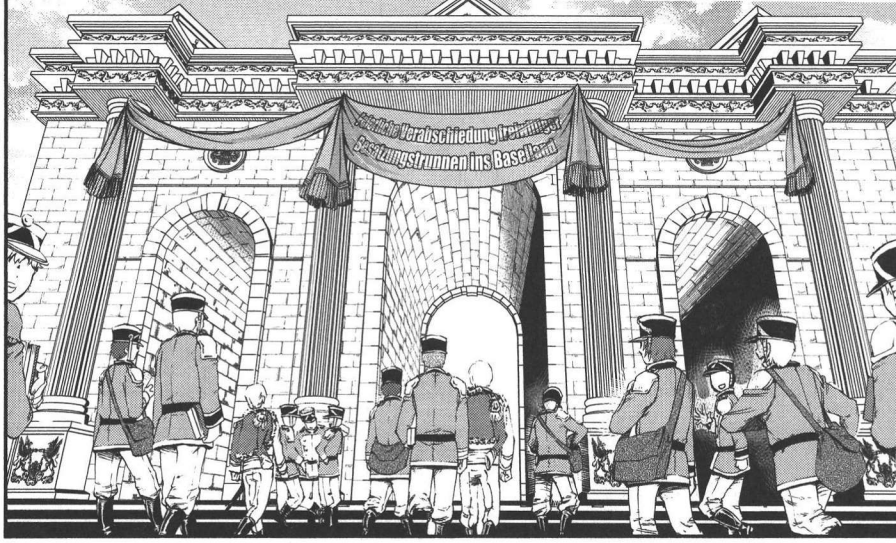
15年以上の士官経験者は
退役後に優先的に
役所の職員として
採用される制度だ

士官学校でまず3年兵役
卒業後 12年間だけ軍隊勤務
30歳そこそこで退役して
その後は地方の小さな
郵便局員にでも落ち着く

これが俺にとって
一番現実的な将来の夢
…人生プランだ






Friedliche Verabschiedung freiwilliger
Besatzungstruppen ins Baselland


Friedliche Verabschiedung freiwilliger
Besatzungstruppen ins Baselland


バーゼルラント
派遣義勇連隊
出兵式典？

なんじゃ
そりゃ…？

おお
やっと
来たか！

パウル・
ブライトナー

重要な話が
あるそうだ
至急 校長室に
来るように

はい

ザワ
ザワ

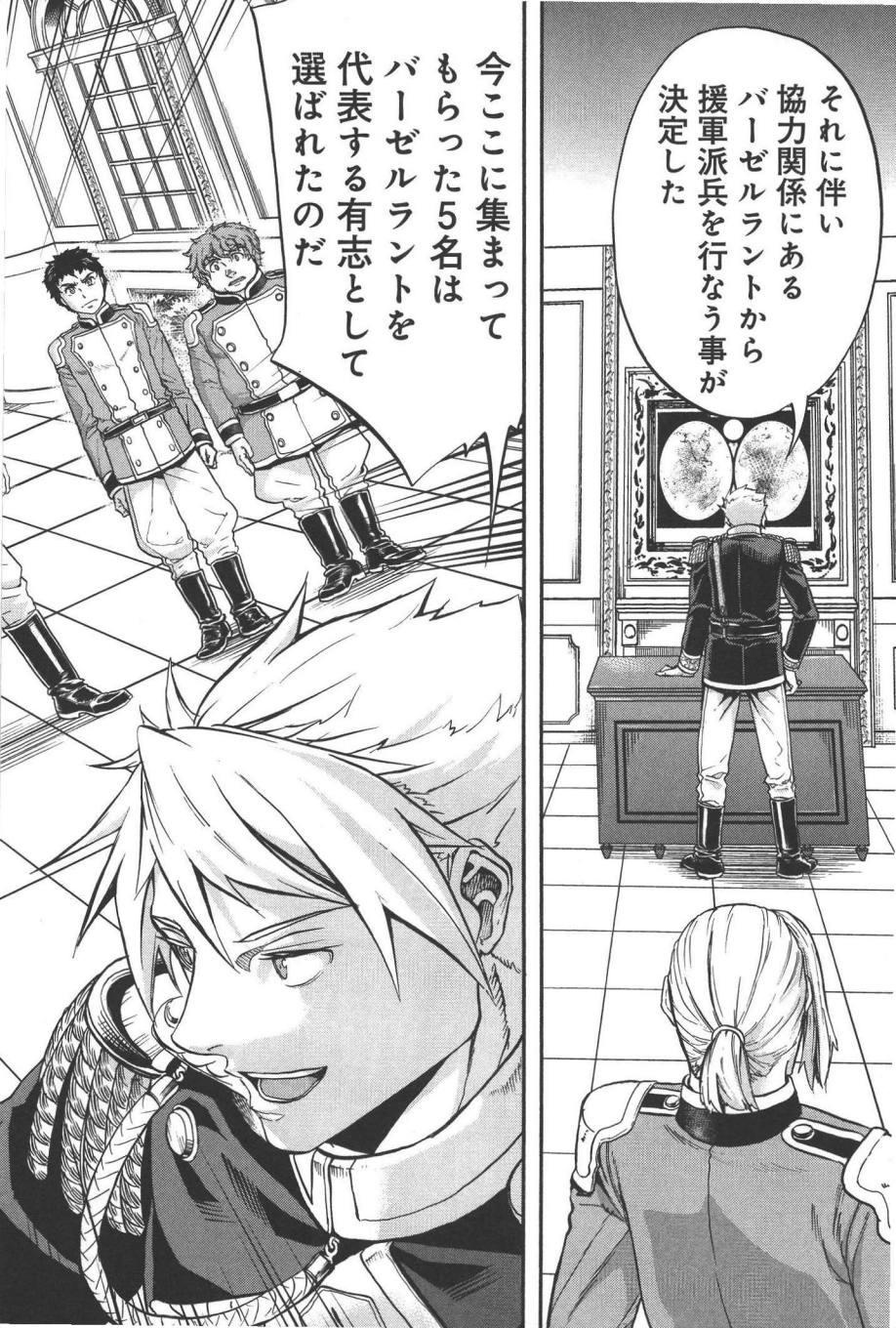
何だか
騒々しいな…

Weißen und Holbeck – Zum
Kampf bereit

ヴァイセンとホルベック
両国戦争状態に突入

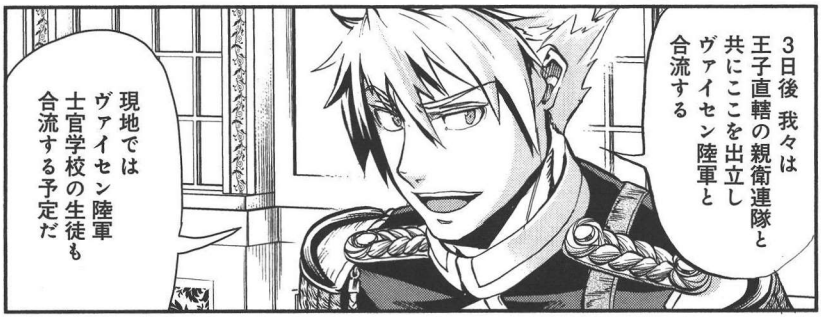
すでに新聞や
校内掲示で知って
いると思うが…

昨日
ヴァイセンは
ホルベック王国との
戦争状態に突入した


それに伴い
協力関係にある
バーゼルラントから
援軍派兵を行なう事が
決定した
今ここに集まって
もらった5名は
バーゼルラントを
代表する有志として
選ばれたのだ


おめでとう
優秀なる
生徒諸君!!


これはホルベックが
艦隊で海峡に陣取り
海上交易路を封鎖の上
先の戦争以後
ヴァイセンの保護下にある
ノルデントラーデの割譲を
要求してきた事に
端を発している
ホルベックの行いは
国際秩序を乱す
侵略行為であり
同胞国として看過出来る
ものではないと
第二王子殿下が
直々に決定された
派兵です

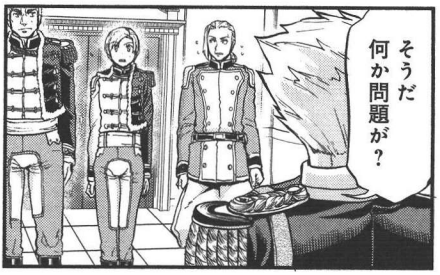

3日後 我々は
王子直轄の親衛連隊と
共にここを出立し
ヴァイセン陸軍と
合流する
現地では
ヴァイセン陸軍
士官学校の生徒も
合流する予定だ


両国の軍事協調を
促進させると同時に
実戦の場を
経験出来る
貴重な機会だ
おいおい
何だよそれ…


子供の遠足の予定か
何かみたいに
シレッと言うなよ…!!
私自身も
生徒である君達と
共に戦える事を
嬉しく思う
何か
質問は?


いえ…!
光栄です!


わ…
私も参加するのですか?


そうだ
何か問題が?


何でそんなにやる気なんだよ…!!
…これだから騎兵科は嫌いだ!!
やった!!
他に質問がある者は？
グッ


……


なぜ砲兵科の代表が自分一人なのですか？
優秀者を選ぶなら自分ではなくディーターのはずです


…確かに成績だけならそうだな
だが彼は鉄道会社社長としての役割がある上に 今までも学校の大事な式典では常にお前が付き添い時には代役まで務めていたそうじゃないか


お前の方が適合能力が高いと判断した
それだけだ
そんなことで…!?

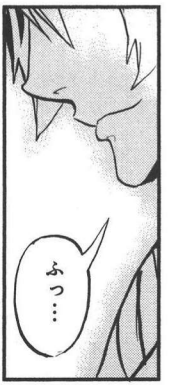

他には？
…無いなら早速派兵式典と出立の準備に取り掛かってもらう
ま…待ってください!!


俺達が派兵されて
何の役に立つって
いうんです!?
俺達の程度は
顧問が一番
ご存知でしょう!!


配備は!?
任期は!?
ただ決まったと
言われても
納得出来ません!!


お前達は何か
勘違いしている
ようだが…


ははは


ふっ…


これは命令で
君達は軍人だ
質問は
許可したが
異を唱えて
いいとは
言ってない
従軍拒否は
許されない
どうしても
行きたくないと
言うなら
ガシッ


自分の指を
銃で撃ち抜いて
戦えなく
することだな






少々脅しが
過ぎたのでは…？


安全な後方配備で
あると伝えても
良かったのでは？
そうは
いきません


生徒は数名の代表団に？

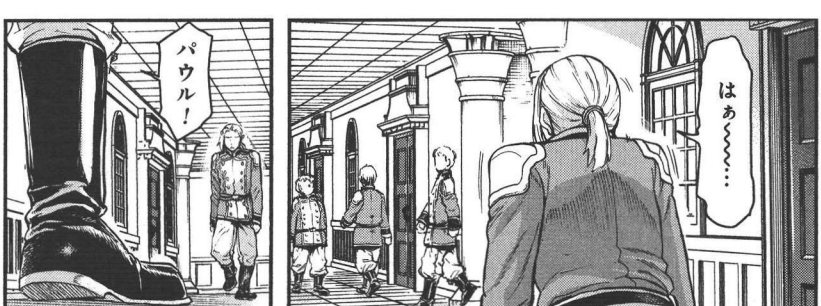

はい
たとえ配置が後方とはいえ
王族の身の安全を最優先に考えた時
あの学校の生徒は確実に足手まといになります


…構わん
どのみち形式参戦だ
数名だろうが「連隊」と銘打ってしまえばいい
念のため わが国の士官学校からも生徒を送るか


代表団の必要性を明示しておけば何かと楽だろう
ありがとうございます


確かに今回は
形式的な派遣では
ありますが…
私にも
緩い生徒気分の子供を
問題なく連れて行く
自信はありません


その点 あの5名は
私が見た生徒の中でも
いくらか頭が回る方
彼らが自覚を
持てば 安心して
連れて行けます


はぁ〜〜〜…
パウル！


ん…あぁ
まぁ…
本当っぽい

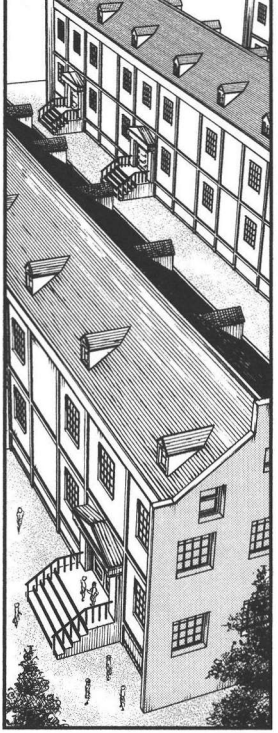

ねぇ…
援軍に行くって
本当なの!?


急な話すぎて
驚くよな
「成績だけなら
ディーターが上だが
実務能力なら
お前の方が高い！」
とか言われてさ


お前は
留守番だぜ
残念だったな
え…
でも


今から早速
出発の準備だ！
じゃーな！


……

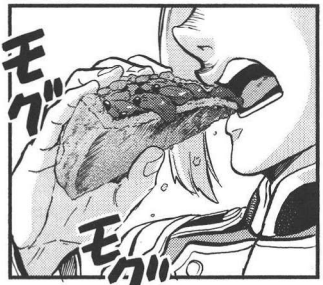



ドサッ
っと…
本当参ったよなぁ…はは

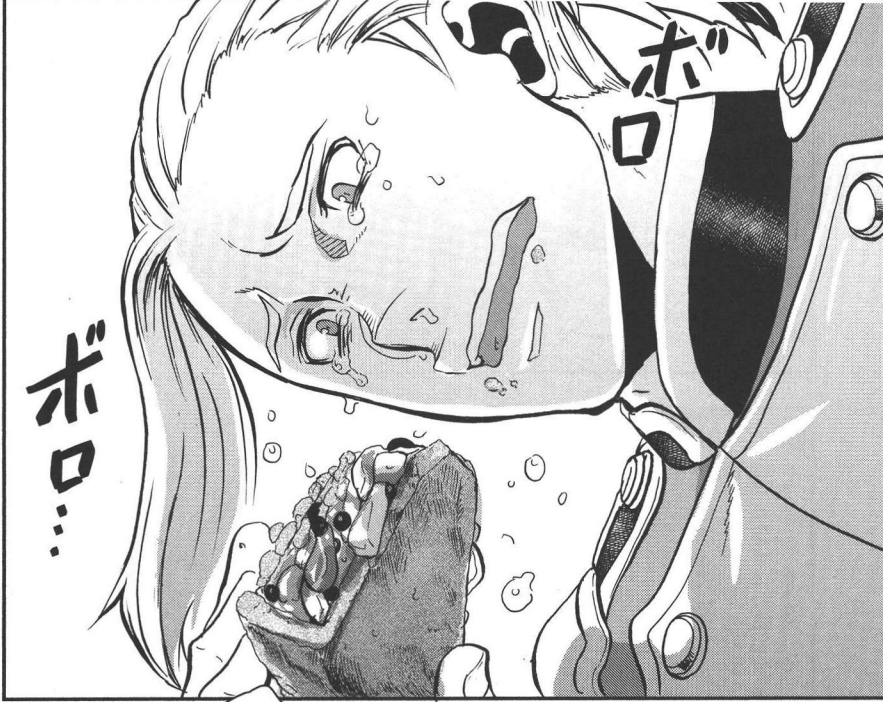

まー確かにディーターじゃ頼りないもんな
顧問の出迎ぇ程度も俺の付き添いが要るやつを戦場に連れてけるわけないだろーし…仕方ねぇか




あ～崩れちまってるな…
ボロ


モグ
モグ…


…
うめぇ…
……


ボロ
ボロ…


行きたくねぇよ…
母ちゃん…俺…どうしよう
援軍とか…冗談じゃないっての…


ワシの時代じゃ皆徴兵逃れるために煙草の煮汁を飲んで病気のふりしてたもんだがなぁ…
自分の指を銃で撃ち抜いて戦えない身体にでもなることだな


この前の暴動の時だって何人も死んでた
俺があの棺桶の一つになってたっておかしくない
こつこつ勉強して真面目にやってきた結果がコレかよ…
他の奴らみたいにもっとサボったりいい加減にしてりゃ良かったんだ…
ちくしょう…いいよなぁ…ディーターのやつ
何で俺はこう貧乏クジ引いちまうんだ…
……
…派遣部隊に志願したい？


見学気分で参加するものじゃない


その心意気は立派だが
代表メンバーは厳正な審査のもと決定したものだ

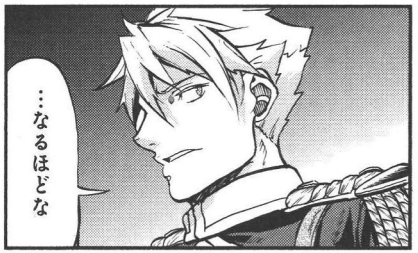

鉄道会社の社長を連れてくなんて御免だ

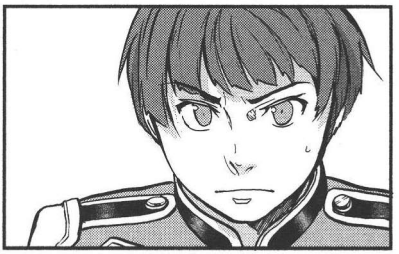

僕は立場上戦争を知っておく義務があります
顧問もそのつもりで僕に鉄道会社を任せたんじゃないですか？


!!
言うようになったな…


わかった…考えておこう


それと…
代わりに
パウルを代表から
外して下さい
あ？


…なるほどな

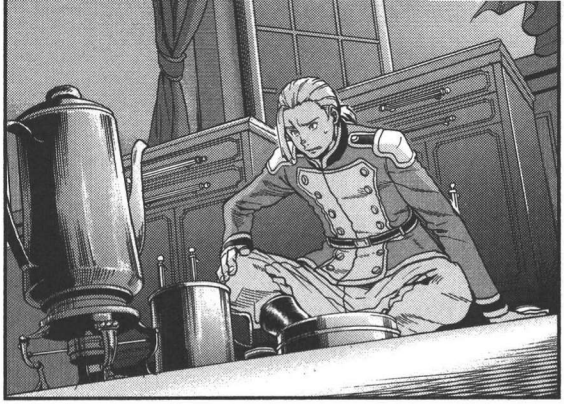


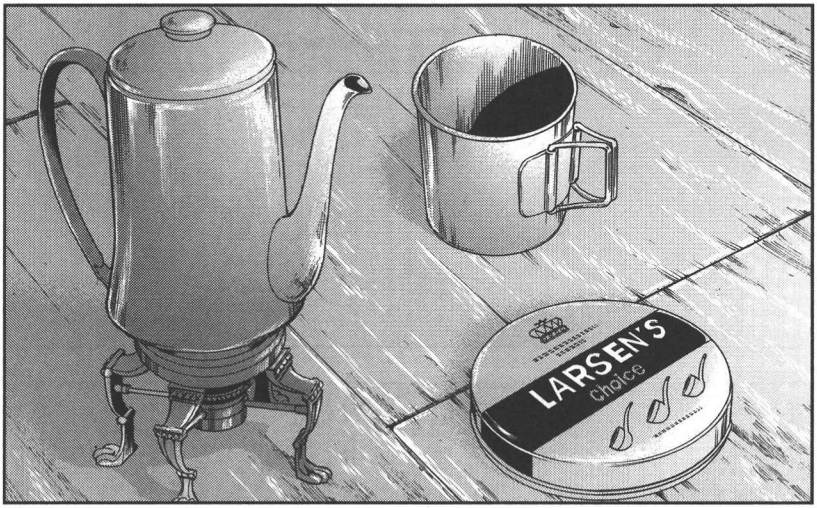

友達想いな
こった


買い物？
じゃあ
外出許可証と
購入品の確認を…
あ～はいはい
遠征の手荷物
準備か


頑張り
たまえよ
は…
はい

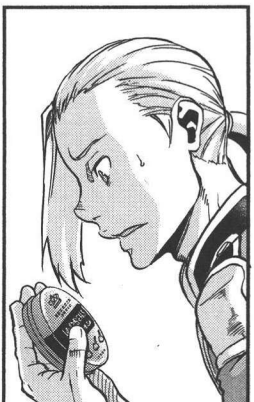

タッ
タッ


ガチャ
オイィ……


LARSEN'S
Choice


煙草の葉
一缶を煮立てる……






げほっ
おえっ…


いかにも
身体に悪そう
だな…
…そりゃそうか
体調壊すために
作ってんだし…


これさえ飲めば
遠征に行かなくて
済むんだ…

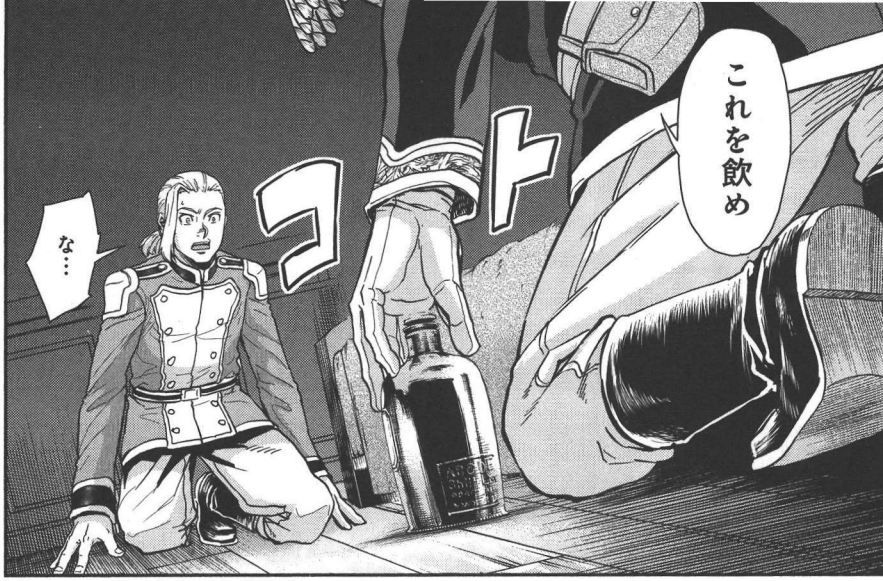

これを
飲み干せば


俺の安泰な
人生プランが
戻って来る


馬鹿な事
やってんじゃ
ねぇよ

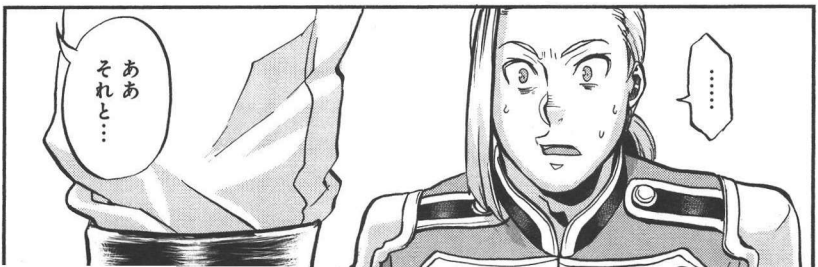

あ…
ここれは…
そこまでして
行きたくないか


そう悪い話でも無いと思うがな
たった5人の派遣部隊に選ばれれば将来の出世に繋がる
言っちゃ何だが一般市民のお前には滅多に無いチャンスだろうよ
……
…言っときますけど 俺 軍人としての立身出世なんて興味無いっすよ…
バルツァー顧問みたいなエリートにはわからないだろうけど…
俺は自分の手が届く範囲で勝負したいんです
LARSEN'S choice
勉強して公務員になって平穏な暮らしをおくる
これが俺の身の丈に見合った出世です
言いたい事はそれだけか？
……


これを飲め
な…
コト


ひまし油だ
Ol. Ricini
Rizinusöl
こいつなら安全に体調を崩せる


煙草の煮汁は古いやり方だ
下手すりゃ内臓疾患で死んだり一生後遺症を引きずる事になる
兵役なんぞよりよほど危ないぞ

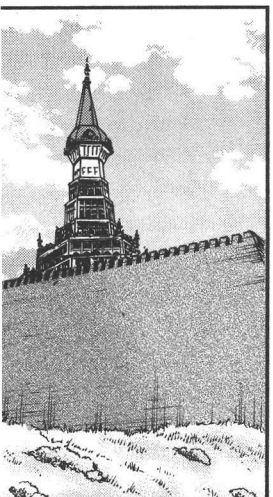

……
ああそれと…


お前が嫌なら
代わりにディーターが
一人で来るそうだ

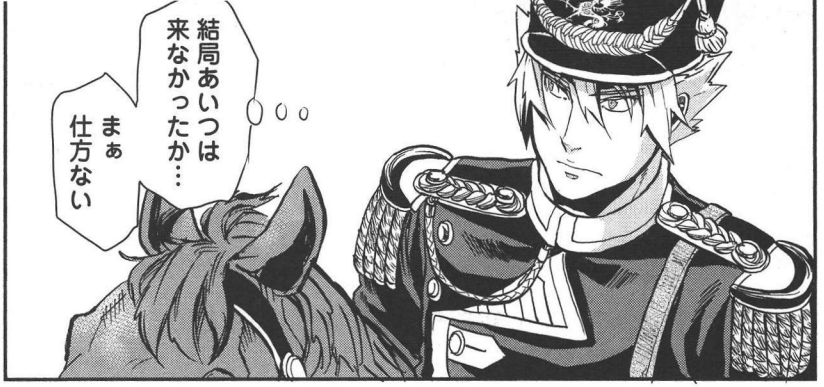

言っとくがな
ディーターより
お前の方が軍人として
能力が高いっていうのは
俺の本当の見立てだ

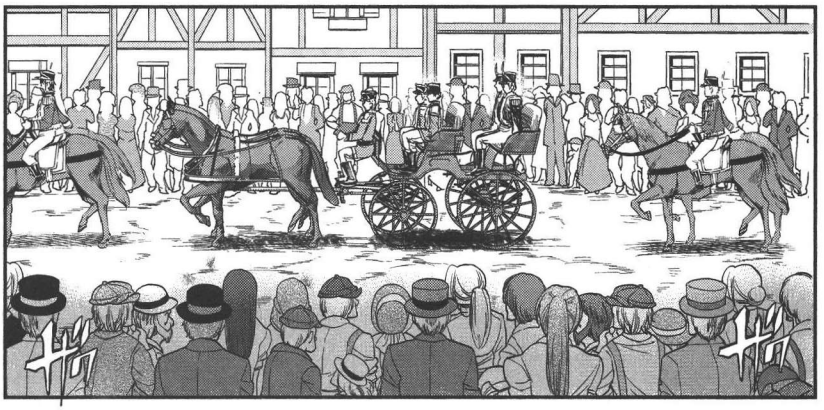

お前は頭が回るし
危険を察知する
事も出来る
無駄に臆さなければ
理想的な軍人だ


3日待つ
それまでに
自分の手が届く範囲を
もう少し考えて
みるんだな



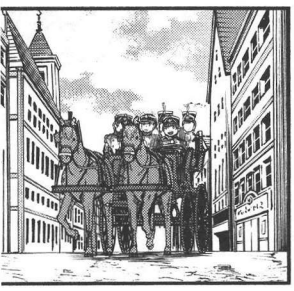

これより
王立士官学校
代表5名は
ヴァイセンへの
援軍として出立します
敬礼!!
皆様
勇士達により一層
鳴り止まぬ拍手を!!


結局あいつは来なかったか…
まぁ仕方ない
ｏｏｏ




可哀想にねぇ…
あんな子供達が軍国のため連れて行かれるなんて


市街地周辺を一巡した後そのまま出発だ
雑音を気にするな
はい

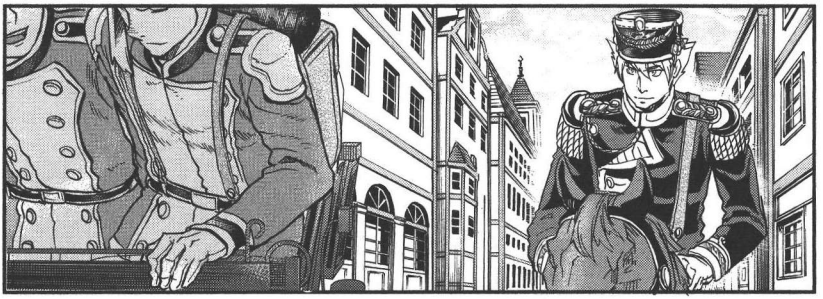



…何だ？
あの子は…


あ…
あいつ…！
ダッ
俺も連れて行ってください!!
な…なんで!?
お前一人に任せられるかよ








お前は
自分の手が届く
範囲が判るって
言ってたな

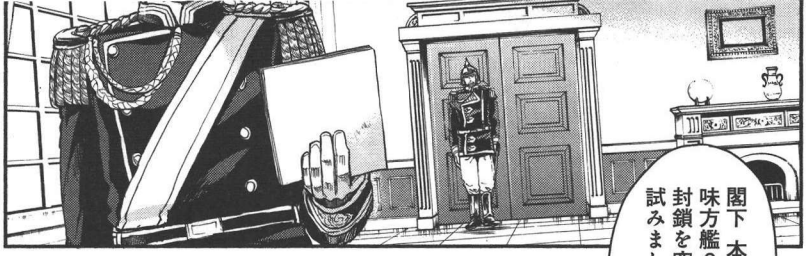

実はその見極めが
案外難しいんだよ
はぁ…

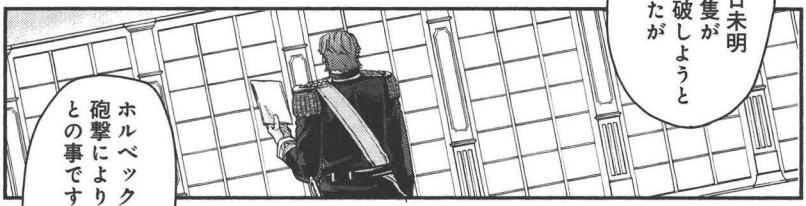

お前の手は
もう少し広く
届くはずだ
ちなみに…

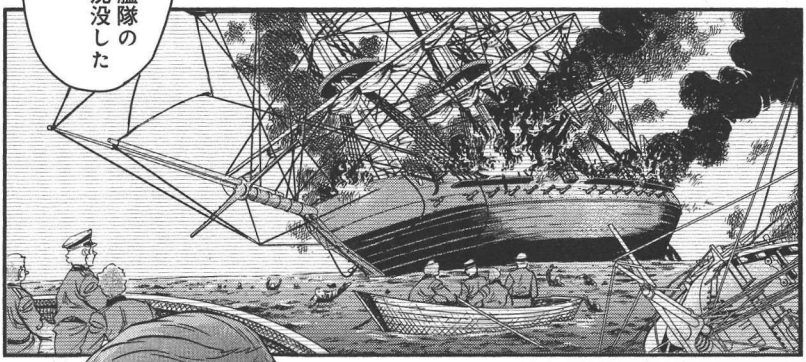

ダッ
え？
それって…


この6人程度なら
俺の手が届く範囲だって
自信がある


さぁ
行くぞ
代表生徒諸君!!

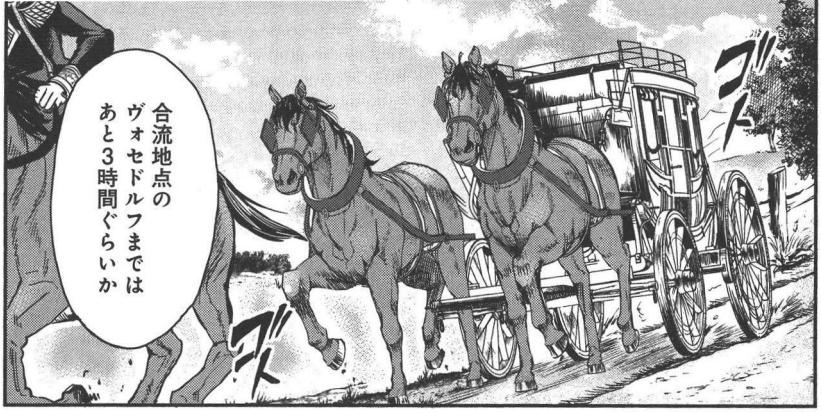

閣下 本日未明
味方艦2隻が
封鎖を突破しようと
試みましたが


ホルベック艦隊の
砲撃により沈没した
との事です




海軍本部の
連中に伝えろ
「これ以上無能を
さらすならば
また陸軍の外局に
戻すぞ」とな
……
ﾛｯ…


は…
はぁ…
わが国の海軍力では
ホルベックに対する
上陸作戦の敢行は
不可能である
当初の計画通り
陸戦で敵戦力を
撃滅するまでだ
は！
トルガウ要塞に
配置予定の沿岸砲を
ノルデントラーデに送り
ホルベック艦隊の
艦砲射撃に備えろ
また陸軍が
海軍の子守りを
するわけですね
軽口は程々に…
…とも言えんか
お前達は
別の子守りだ
任せたぞ
は！

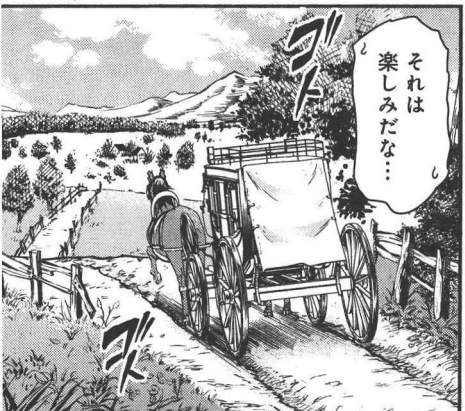

合流地点のヴォセドルフまではあと3時間ぐらいか
ゴトゴト

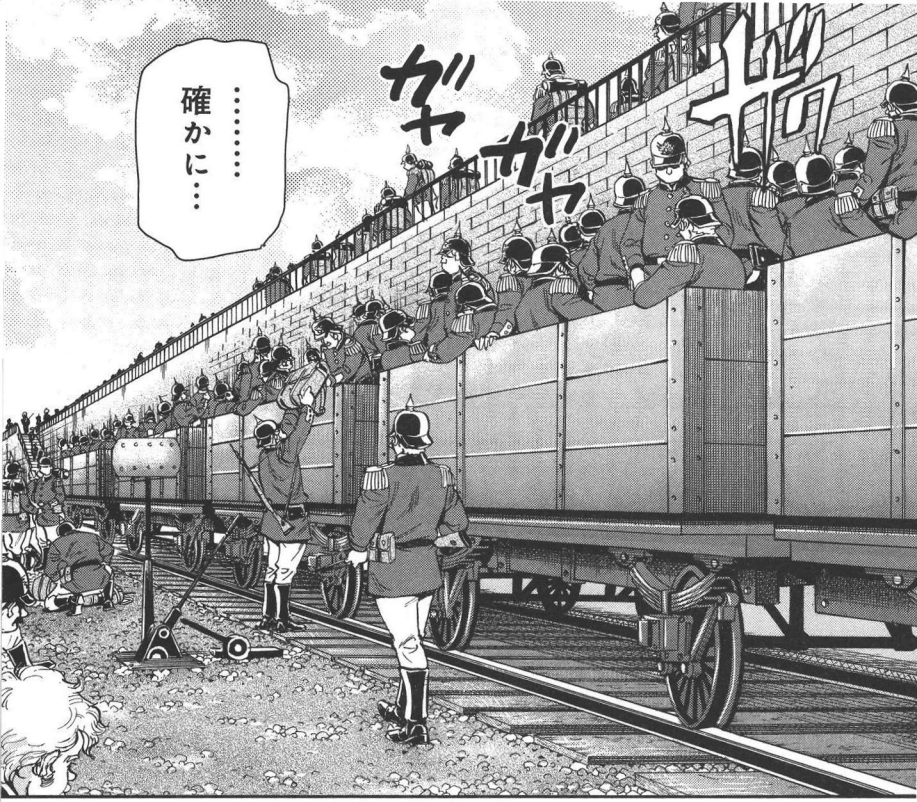

ああ この前もそのくらいだった


君達は行った事があるのか？


うん！
人がいっぱいで駅とかあって凄かったよ


バーゼルラントの首都よりずっと賑やかなんだ
そ…そうか


それは楽しみだな…
ゴトゴト


ガヤガヤ
……確かに…


軍人さんばっかだね
WELLS,FARGO&COMPANY.

第18話 士官の矜持

凄い人の多さだ

ザワ

ザワ

ザワ



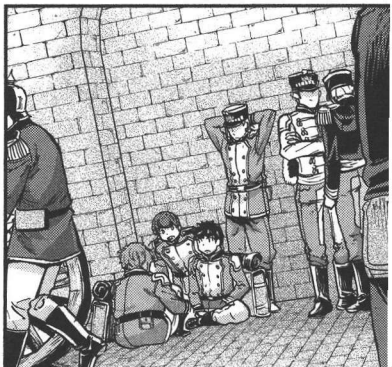

去年の訓練時は1日で
5万人を300km移動させて
何ら問題なかったのに…
どけ!
モー
実際の運用となると
こうなるわけか


ガヤ
やっぱ
輸送量が足りても
乗り換えで混乱
するんだよなぁ…
ガヤ

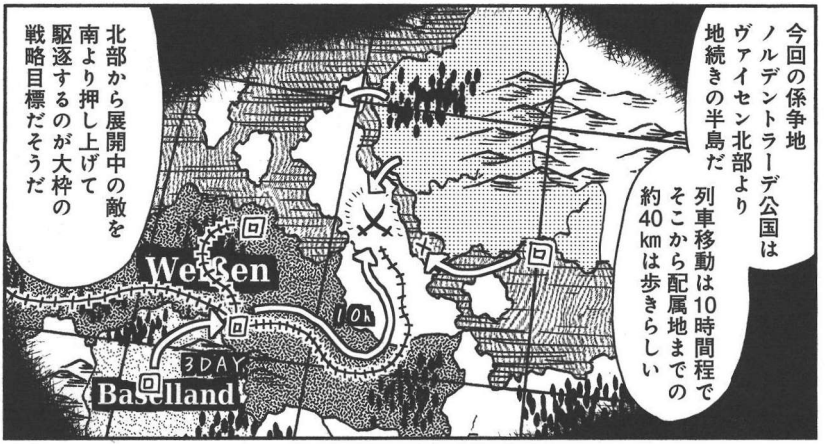

ここで合流予定の
アウグスト殿下達は
場所を移して
待っているそうだ
迎えに
行って来る
お前達は
ここで待機だ
はい!




なんか…
思いっきり
荷物みたいに
運ばれてくんだな




列車移動っつーから
地味に楽しみに
してたんだけど
やっぱロクなもん
じゃねぇよな～
でも確か
半日くらいで
着くんだよね？
ああ


今回の係争地
ノルデントラーデ公国は
ヴァイセン北部より
地続きの半島だ
列車移動は10時間程で
そこから配属地までの
約40㎞は歩きらしい
北部から展開中の敵を
南より押し上げて
駆逐するのが大枠の
戦略目標だそうだ
Weissen
3DAY
Baselland


あ～それ聞いて
テンション
下がってきた…
人生初の列車旅が
戦地行きとか
笑えねぇよな
はぁ～…
まだそんな事
言ってんのかよ


俺たちは選ばれた
義勇部隊
なんだぜ？


もう少し
胸を張れよ


いや…
その…
…っ！


ギロ…
だいたい子供が
こんな所で
何をしている


あぁ!?
コラ！
危ないだろーが
前見て
歩け!!

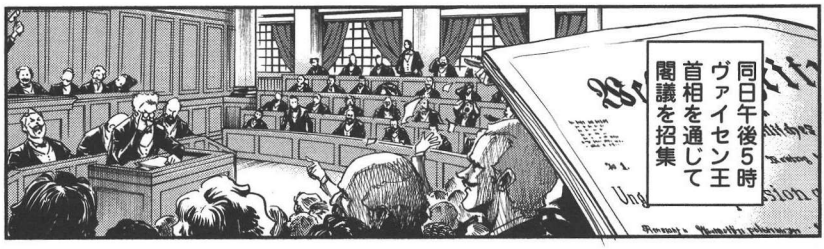

助けて
顧問…!!




おいおい
なんだ
この子供達は
何の騒ぎだ？
ザク
ザク
ソロ
ソロ


ドサッ
これで全部か？
はい 大手四社のここ15日分の新聞です
パラ…
ご苦労
保養地で足止めされた日からほとんど状況が確認出来ていない
出来るだけ把握しておかなくては
15日前
9月1日午前10時ホルベック艦隊が海峡に集結中との情報が参謀本部に入る

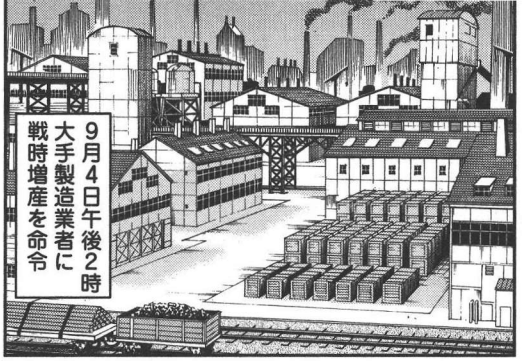

先の戦役以後
貴国の管理下にある地域は
元来わが国の領土であると
ご理解ください
午後1時
ヴァイセン駐在の
ホルベック大使
国王に謁見
72時間以内の
軍撤退を要求


同日午後5時
ヴァイセン王
首相を通じて
閣議を招集


9月2日午後2時
首相と内閣は
対ホルベック戦争を
閣議…決定!?
この時点で
戦争が決まって
いただと…!?


午後5時
ヴァイセン参謀本部は
平時より考案していた
対ホルベック
戦争計画に基づき
極秘裏に動員を開始
各師団へ
出動準備を通達
同時に
国境線付近の軍隊は
厳戒態勢に入る


9月3日午前10時から
参謀本部と鉄道省による
「野戦鉄道管理本部」編成
戦時ダイヤの準備に入る

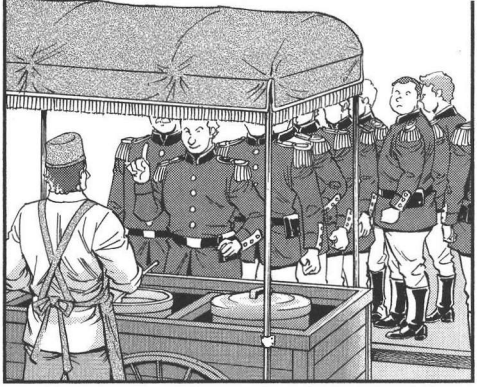

9月4日午後2時
大手製造業者に
戦時増産を命令


9月6日
戦時物資
統制令を発令
その翌日
9月7日に
殿下と参謀総長の
会談とあいなった
というわけです


こんな所でお待ちとは…
本部に言って頂ければ
すぐにお迎えを遣わした
でしょうに


また軟禁されては
かなわんのでな


はは…
そう警戒
なさらず…




可愛い生徒達がお待ちです


試作の製氷機で作ったのをタダで配ってんだ 兄ちゃんも遠慮するな
は…はぁどうも…


どーだ旨いだろ？
うん！

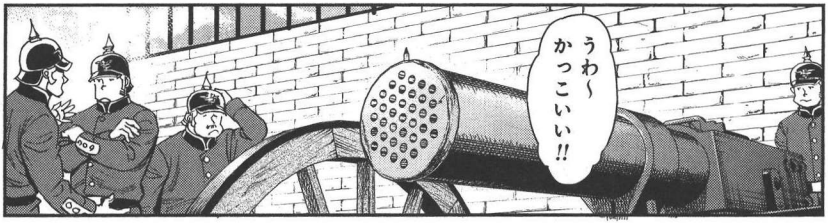

顧問じゃない少佐だ！
少佐!!


小さいのに義勇兵なんて大したもんだ！
自分で志願したのか？
いやバルツァー顧問に選ばれた
顧問？


随分と楽しそうだな
早速旅行気分か？
あ…
キッ
それはヴァイセン正規軍への配給品だ
本来は許可無く受け取っていい物じゃない
う…
お前達まで何やってるんだ
お…
しゅん…
彼らは士官候補として今回の遠征より小隊長を務める身分だ
諸君らは立場を弁えたまえ
は！失礼しました！
親切な人なのにそんなに怒らなくても…


…あれ？
何で一人足りねぇんだよ…


おい

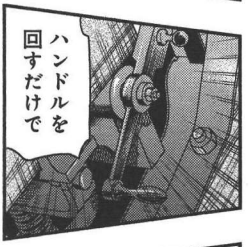

うわ～かっこいい!!

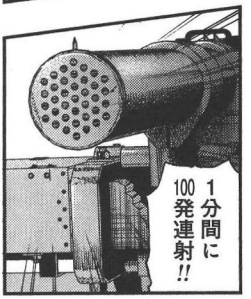

後装式多砲身〝斉射砲〟


ゴゴゴゴ


スッ…
うは～！


39発の13㎜実包を
一括で装填して


ハンドルを
回すだけで

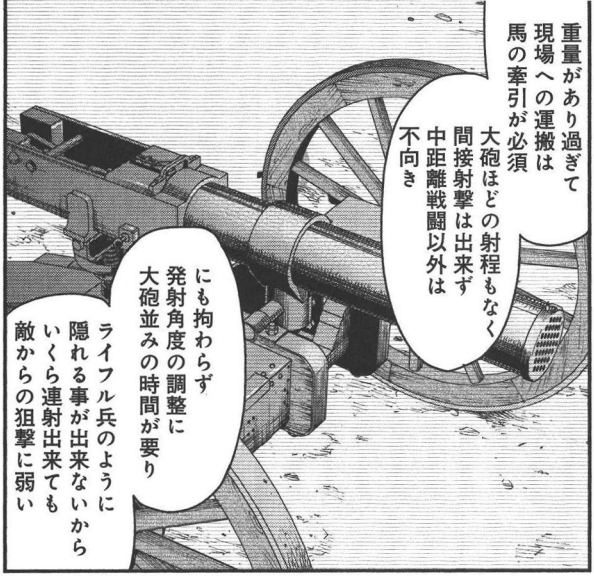

1分間に
100発連射!!


誰が場所を
離れていいと
言った!!
ヒリ
ヒリ


ったく
お前連れて来たのは
普通に失敗だったな…
その…鉄道の
勉強のために…
明らかに
砲に食いついてた
じゃねーか

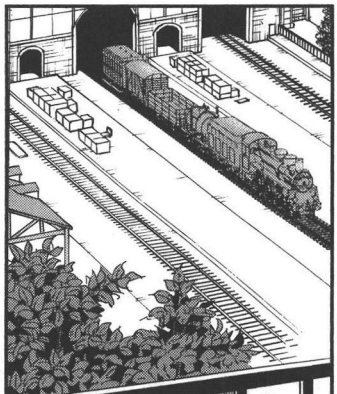

ガーン
言っとくけど
そんな砲
使い物に
なんねーぞ

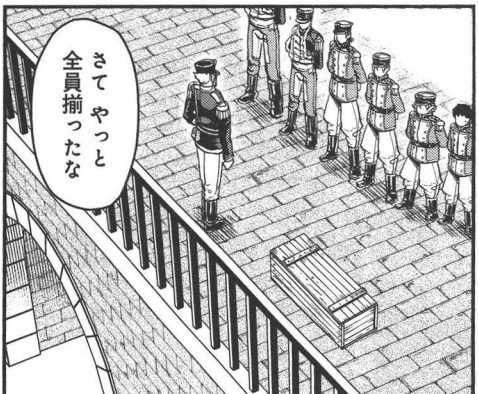

隣国の技術を
盗めたのを幸いと
大喜びで作った
らしいが…


重量があり過ぎて
現場への運搬は
馬の牽引が必須
大砲ほどの射程もなく
間接射撃は出来ず
中距離戦闘以外は
不向き
にも拘わらず
発射角度の調整に
大砲並みの時間が要り
ライフル兵のように
隠れる事が出来ないから
いくら連射出来ても
敵からの狙撃に弱い


まともな
運用プランが
想定できてねぇ
使う奴は
可哀想だぜ
ハッ


兵器の説明は
以上だ！
おら！
行くぞ
ズル



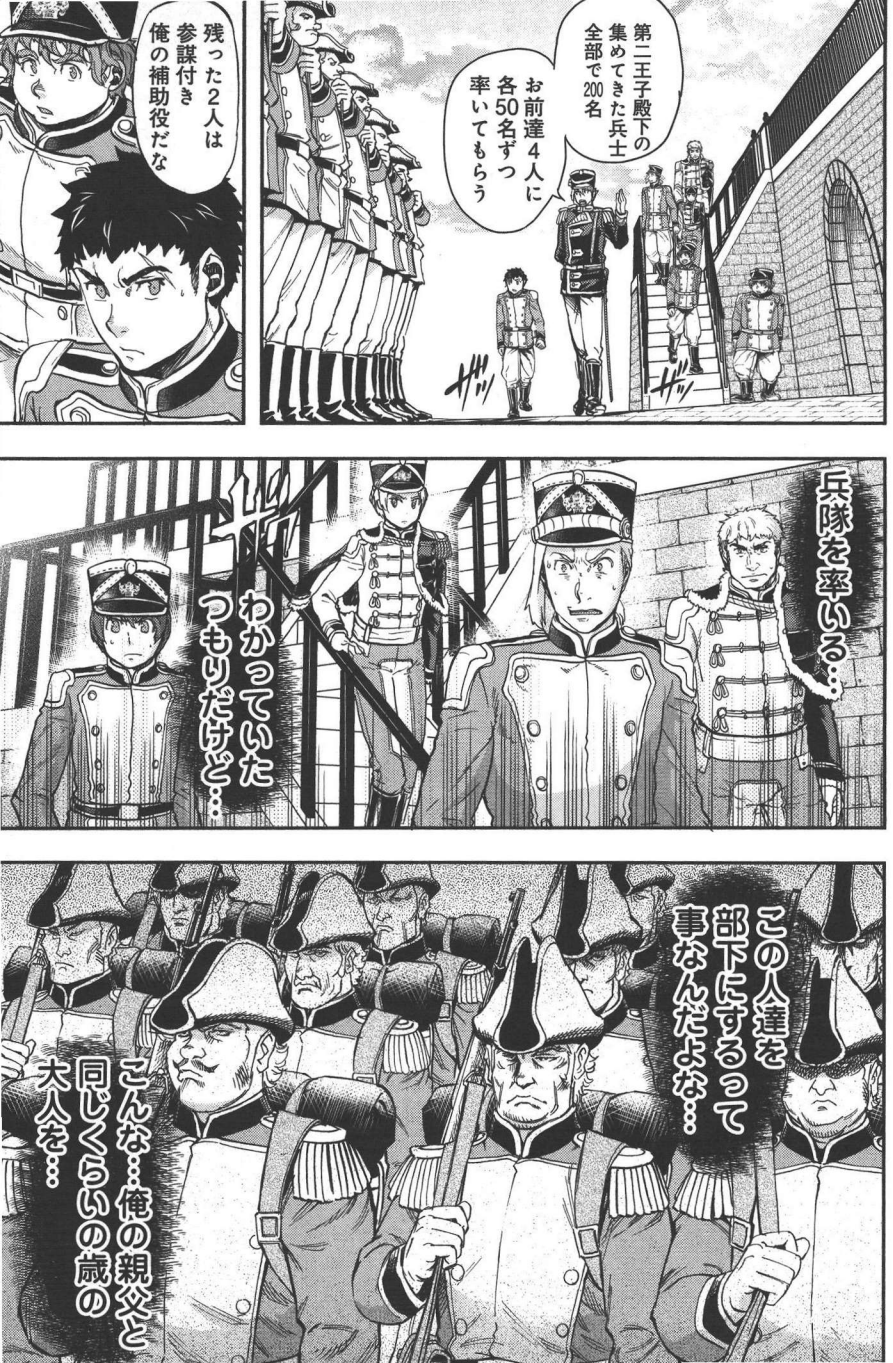

さて やっと
全員揃ったな

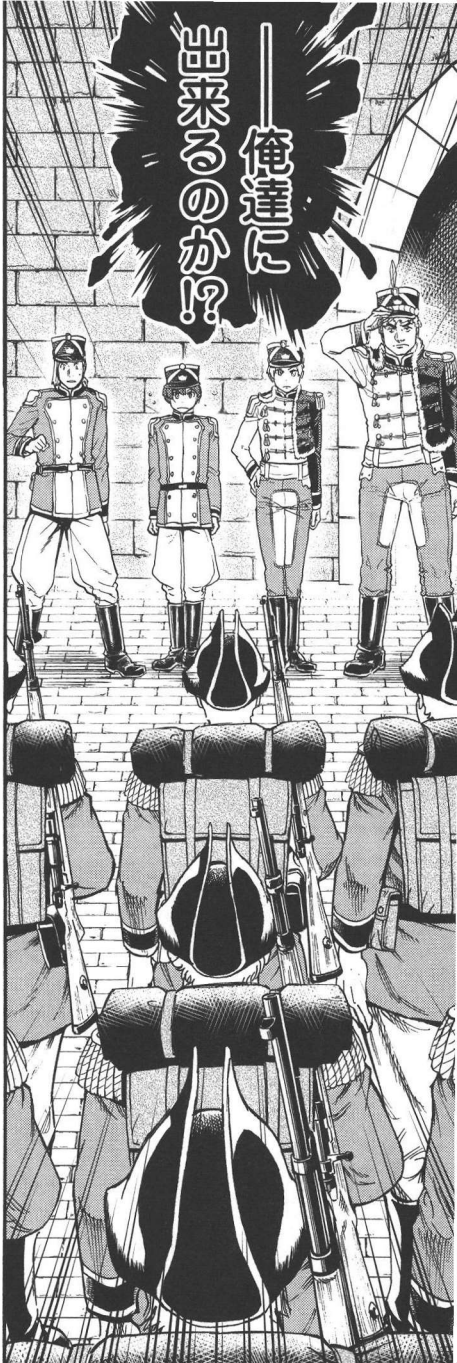

これから
必要物資を
支給する

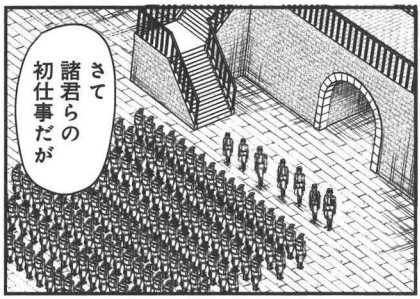

何やら早速
気が緩みきってる
ようだが
これが旅行ではなく
士官候補の職務で
ある事を思い出して
もらおうか


いま渡したのは
最新式の軍国銃と
臨時の支度金だ
支度金…？
た…大金じゃ
ないですか
こんな大金
何のために…
さっきも言ったが
お前達は今回の派兵で
小隊長を務めるんだ
つまり
それは彼等の
ために使う金だ


バーゼルラント
義勇兵の指揮は
君達に一任される
え…
えええぇ!?


第二王子殿下の集めてきた兵士全部で200名
お前達4人に各50名ずつ率いてもらう
ザッ
ザッ
残った2人は参謀付き俺の補助役だな
兵隊を率いる…
わかっていたつもりだけど…
この人達を部下にするって事なんだよな…
こんな…俺の親父と同じくらいの歳の大人を…


俺達に出来るのか!?

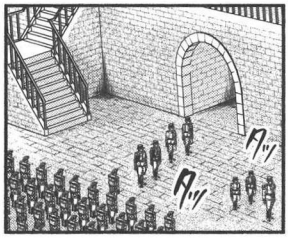

さて諸君らの初仕事だが


見ての通り輸送トラブルにより当初予定していた列車移動と車内泊が出来なくなった
翌日の空き列車を待つしかない


そこで今から小隊の休憩を諸君らに一任する
翌日正午まで責任をもって彼等の臨時の宿泊場所と食事を確保するように


そんな…今から200人分の宿泊なんて確保出来るわけ…
50人ずつならどこかしらねじ込めるはずだ
四小隊の宿泊地は各自でバラバラに手配しろ
移動は少数で行い駐留地の負担を軽減させる
「分散進撃」の基礎だ


俺達は将校用ホテルに宿泊している
何かあったらここに連絡するように
え…
俺達だけでやるんですか!?
当然だ
不安ならまず第一に部隊の下士官の意見を聞くんだな
彼等は現場のエキスパートだ


ダッ
ダッ


ハル…
……


くれぐれも他の部隊とのトラブルは避け
また一般市民の迷惑にならぬよう気をつけるように
以上!


軍曹
何か意見は
あるか？


ズラ〜ッ

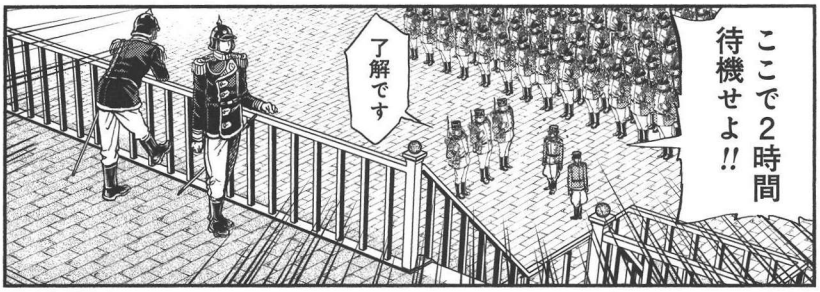

駅付近のホテル 倉庫
公共施設はヴァイセン軍が
借り上げて満員状態のはず
小さな下宿などを
探す必要があるかと


今から宿を
確保するとなると
50人分でも難しい
野外での
テント野営では
駄目だろうか？
現地へ向う前に
兵を疲弊させたくは
ありません
極力屋根と
寝具がある場所で
眠らせるべきです


それに…


彼等はこの駅の混乱に辟易し
また 口にせずとも若い隊長殿の指揮に不安を感じております
先々命令を聞かせるためにも重要な事と考えて下さい
……解った肝に銘じておこう
ユルゲン
2時間以内に場所を確保するそれまで待機だ
お…おい！
ど…どうしよう！
俺達も急ごう！
ええと…2時間ここで待機していて下さい
小隊長殿


口の利き方に気を付けて下さい
我々が応じるのは「子供のお願い」でなく「命令」です
ええと…その…


ここで2時間待機せよ!!
了解です

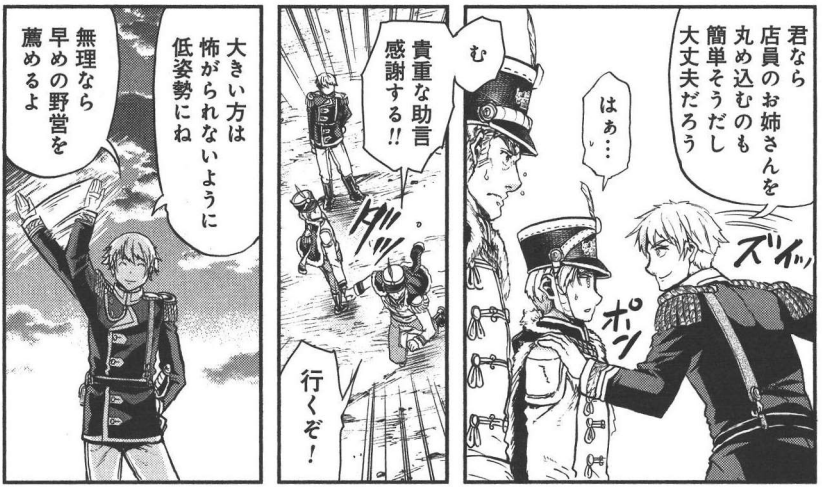



あ〜あ…恥ずかしいねぇ




ガタンッ
セーノ
空いてる宿は見つかったか？
いや…どこも軍の借り上げで満室だ…
どうする？このままじゃ…
やあ
お困りのようだね
タッ
タッ
…貴方は…？
まともに宿を探しても空き部屋なんてまず無いからね
良い事を教えてあげよう
ここから通り二つ先のビアパブは夜9時からなら一晩貸切も受け付けてくれる
急いで相談に行くといい


本当か!?
まぁ当然
兵隊の寝床にするのは
いい顔されないだろうから
交渉次第ってところだね
タッ
タッ


君なら
店員のお姉さんを
丸め込むのも
簡単そうだし
大丈夫だろう
はぁ…
ズイッ
ポン
む
貴重な助言
感謝する!!
タッ
行くぞ!
大きい方は
怖がられないように
低姿勢にね
無理なら
早めの野営を
薦めるよ


だぁ〜
駄目だっ!!
ドカッ




ディーター・シュトルンツとパウル・ブライトナーだな
ゴッ!!


野営って言ったら怒るかなぁ
ラガー!!
ホテルどころか学校や倉庫すらも空いてねぇ!!


ええと…
どちら様で?

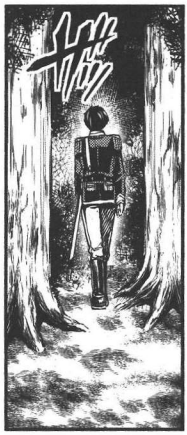

え…?
今からではまともな野営場所さえも確保は難しいぞ
ナガ!!


…
ズッ…


実家は鉄鋼会社とパン屋か…
!?


ディーター君は開設予定のバーゼル鉄道の車庫を借りるんだ
手空きの職員に宿泊準備を手伝わせるように
ヴァイセンの人だよね？
ヒソ！
だな…
ヒソ…
パウルは急ぎ市街西側の「製パン組合」窓口に申請し社員用の下宿を借りるように


伝える事は以上だ
…いや あの…
解ったら早く行きたまえ


ナゼ


行っちゃった…誰なんだろう？
まぁ多分バルツァー顧問の助け舟だろうな


俺達の宿探し自体最初から尾行されてたんだろうな
え？どこだろ？
探しても無駄だろ
タッ


せっかく教えてもらったんだ急ごうぜ


小隊は大丈夫だろうか…

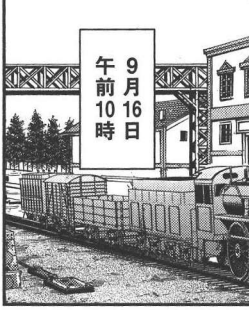

HOTEL
ATLANTIS


まぁ問題無いでしょう
殿下の兵達は随分お行儀が良い

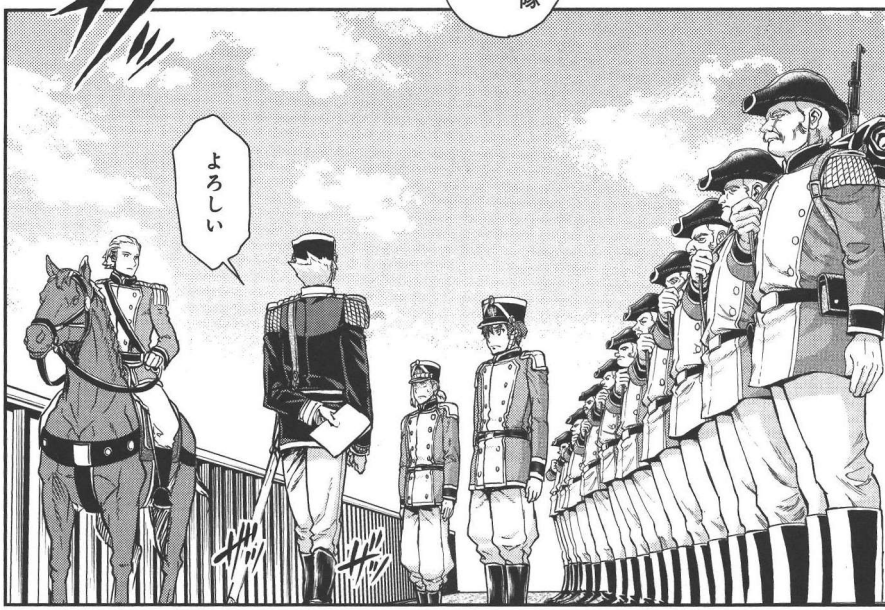

寄せ集めかと思いきや彼等の所作から見るに近衛部隊かどこからか引き抜いて来たようで


……
問題は生徒らの方だ随分動揺していたようだが？
殿下の学校の生徒ですよ


心配なら教育方針を考え直すべきでしょうね
学校まで作ってコストをかけて歯車を作る必要は無いでしょう
教育の機会さえ与えれば活かせる生徒も見つけられるはずです
…例えばこいつらでもか？
……
勿論です

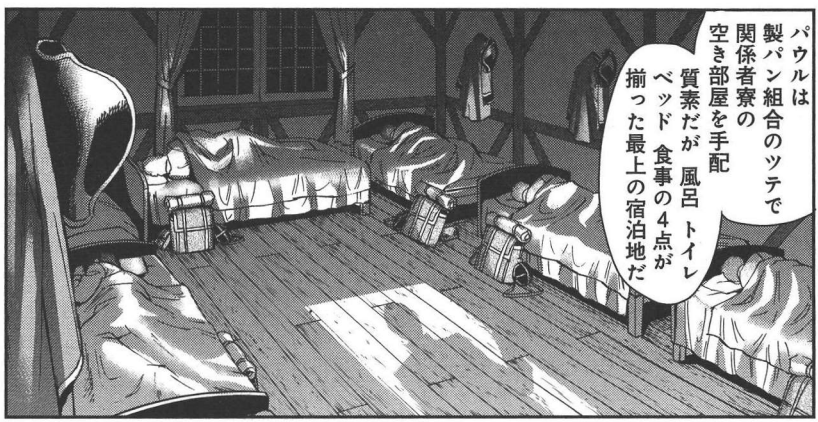

9月16日
午前10時


バーゼルラント連隊
総員200名
異常ありません!!

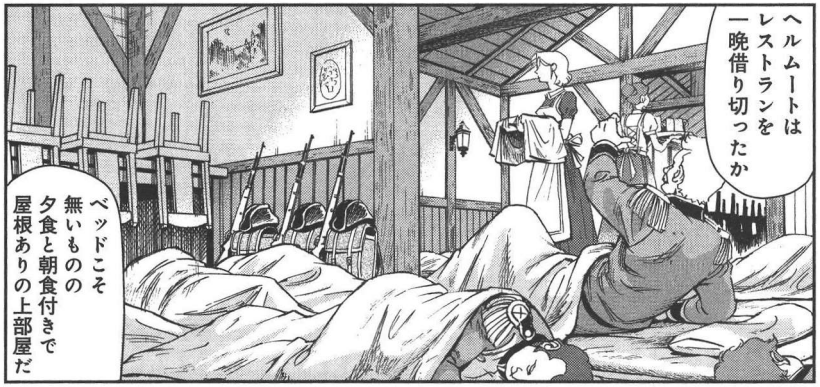

よろしい

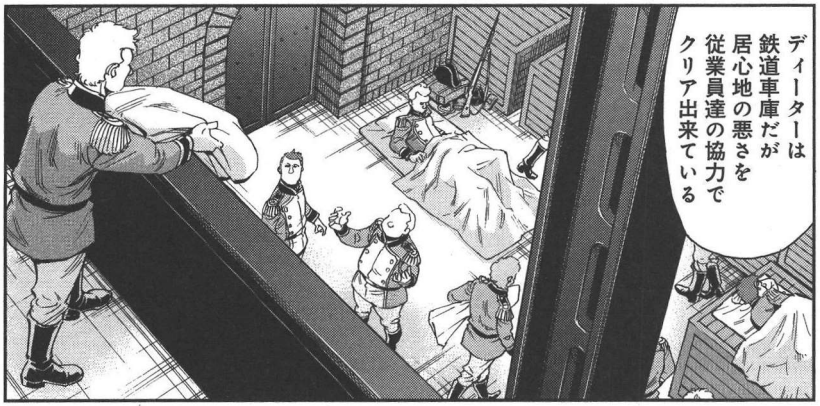

本日 列車の運転に
余裕が出たそうだ
予定通り係争地である
ノルデントラーデに
向けて出発する
長距離移動を控え
諸君らは昨晩
快適な夜を過ごして
もらっているだろうと
思うが…


ギリクッ
!!
念のため
軍曹から直接
昨晩の宿泊について
報告を受けている


パウルは
製パン組合のツテで
関係者寮の
空き部屋を手配
質素だが 風呂 トイレ
ベッド 食事の4点が
揃った最上の宿泊地だ


ユルゲンは結局
屋根付きの宿泊地が
見つからず公園で野営
水場とトイレがあるので
及第点といったところだが
兵からの印象が良好なのは
外見に救われてるな


ヘルムートは
レストランを
一晩借り切ったか
ベッドこそ
無いものの
夕食と朝食付きで
屋根ありの上部屋だ


ディーターは
鉄道車庫だが
居心地の悪さを
従業員達の協力で
クリア出来ている


良くやったな
お前達
この判断が出来れば
まずまずの結果だ
咄嗟の考えで
状況に応じた行動が必要で
絶対の正解はない
こういった事は


…どうした？
……
……
ソク
ソク
オロ
オロ

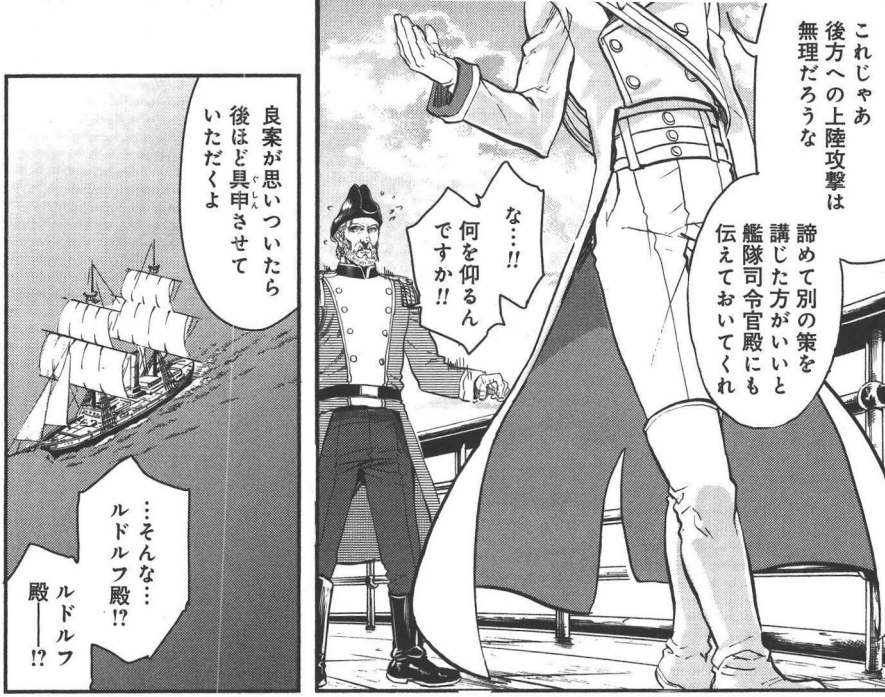

…その…
顧問が教えて
下さったんじゃ
ないんですか？
…何の
事だ？
通りすがりに
教えてくれた
人がいたんです…
てっきり顧問の
言付けか何かかと…
顧問と同じ
軍服を着て
ました…
おいおい俺は
知らねぇぞ…
つまり
昨晩の結果は全部
「謎の親切さん」の
おかげってか？
あーあー…
何処の
どいつだよ
全く…
申し訳
ありません
彼等があまりに
モタついていたので
見かねて口を挟んで
しまいました
あ？
あっ！
参謀総長閣下の
ご命令により
義勇連隊に同行させて
いただく事に
なりました

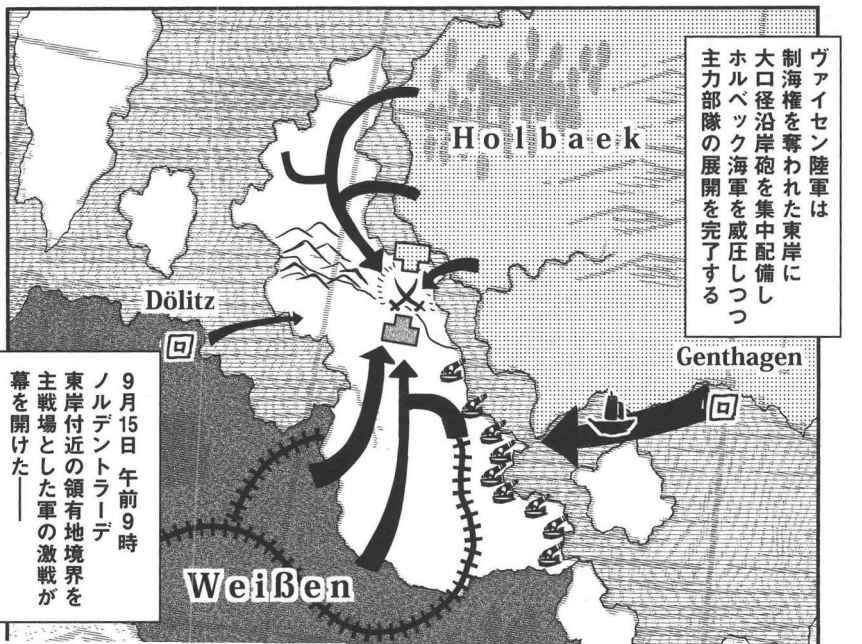

ヴァイセン陸軍
士官学校3年兵
ユーリ・ヘーゼン
同じく
ティモ・バウマン
君達と同じく
士官候補生の身だ
よろしく頼む



軍靴のバルツァー


いや
これは
壮観だね
ヴァイセンの
海軍力の不足を
陸の火力で補おうって
いうんだから
大したものだよ
まるで大砲の
万博のようだ
……どう
お考えですか？
そうだな……


これじゃあ
後方への上陸攻撃は
無理だろうな
諦めて別の策を
講じた方がいいと
艦隊司令官殿にも
伝えておいてくれ
な…!!
何を仰るんですか!!
良案が思いついたら
後ほど具申させて
いただくよ
…そんな…
ルドルフ殿!?
ルドルフ殿――!?


ヴァイセン陸軍は
制海権を奪われた東岸に
大口径沿岸砲を集中配備し
ホルベック海軍を威圧しつつ
主力部隊の展開を完了する
Holbaek
Dölitz
Genthagen
Weißen
9月15日 午前9時
ノルデントラーデ
東岸付近の領有地境界を
主戦場とした軍の激戦が
幕を開けた――

第19話 秋の嵐

それから数日後

前線から100km後方
ホッペンシュテット村



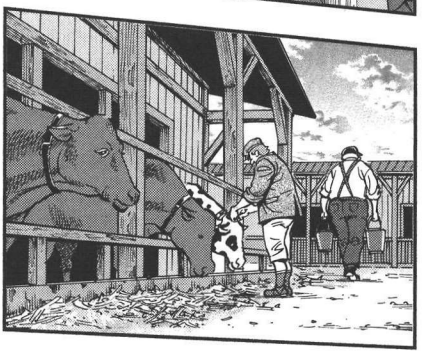

将校さん
将校さん
言われた通り公民館を空にしてときました
…あぁご苦労
…だけど 本当にこんな辺鄙な田舎に王子様が来るんで？
辺鄙な田舎だから来るんだ
安全と解りきった後方に物見遊山に来るわけだ
恩着せがましく「義勇連隊」という名目でな


まぁ
これも命令だ
仕方ない
はぁ…
終わり
ました
うむ
いつも通り
完璧だ
さて
行くか
はっ！


出迎ぇ
ご苦労
ようこそ
援軍
感謝します
我々は言われた通り
手厚く歓迎し
もてなせばいいのだ
よろしく
頼む

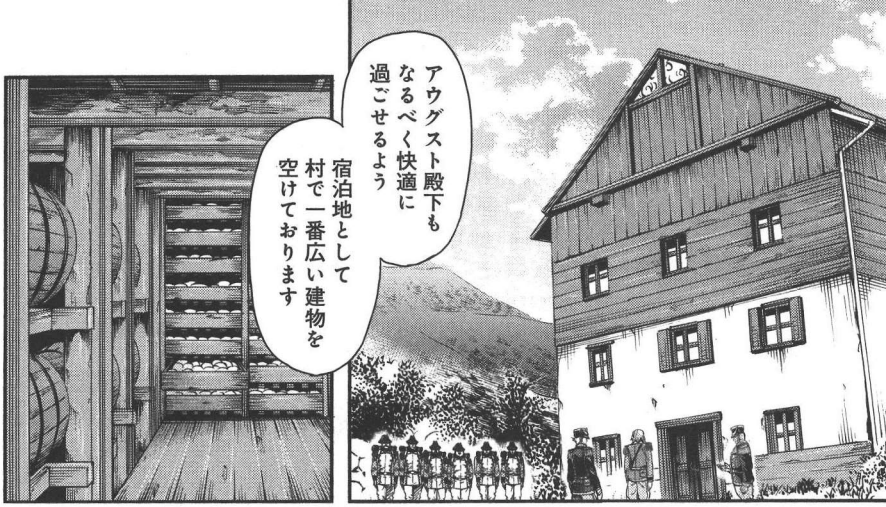



のどかな良い村だ
ええ村人達も協力的です




ここは西側の港で陸揚げされた物資の集積分配所ですから不自由な思いもまずなさらないはずです

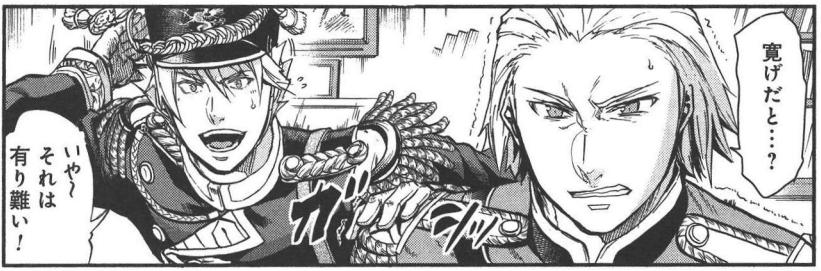

兵隊の野営地は村はずれの広場を空けてあります
?


アウグスト殿下も
なるべく快適に
過ごせるよう
宿泊地として
村で一番広い建物を
空けております


嗜好品類もなるべく
上等な物を用意
させました
他にも必要な
物があれば
何なりと…
そういった
配慮は結構


それよりもまず
我々の任務について
伺っておきたい
警備や訓練は
何をすればいい？
……


皆様には
何もしていただく
事はありません
私共もお客人として
持て成しをさせて
いただきます
戦役が終わるまで
存分に寛(くつろ)いで
らして下さい


寛げだと…?
いや〜
それは
有り難い!


メエエェ
なんだ
あの大尉は!!

寛げなどと…
我々を愚弄して
いるとしか
思えん!!

貴様も何か
言ってやったら
どうなのだ!!

クワッ

いやいや…

まぁそれだけ
安全だと思って
ください

主戦場は
半島の東側
ここはそこから
100kmも後方の兵站地

100km

Dölitz

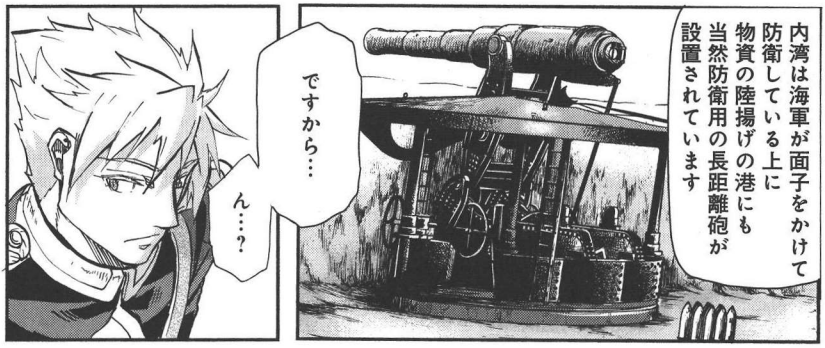
西と南は
友軍の制圧地
北は山岳地帯
ここに敵が
なだれ込んで来る
ような事があれば
それは全軍が壊滅
した時ぐらいです

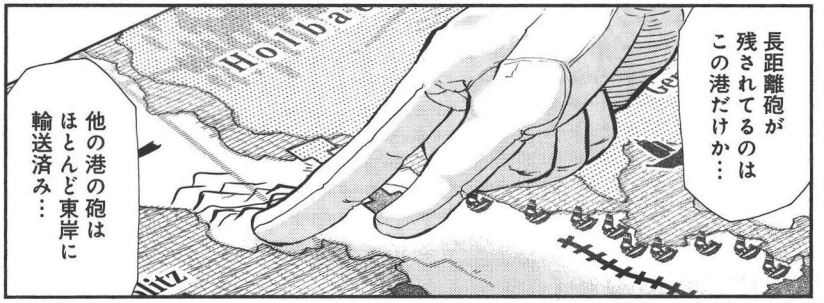
ですから
実際に大して
やる事も無い
わけですな

海はどうだ？

あのですねぇ…

西側の海は最重要の
首都との海上輸送路
ですよ？


内湾は海軍が面子をかけて
防衛している上に
物資の陸揚げの港にも
当然防衛用の長距離砲が
設置されています
ですから…
ん…？


長距離砲が
残されてるのは
この港だけか…
他の港の砲は
ほとんど東岸に
輸送済み…


……
……
どうした？


…いや……
何でも
ありません


…所詮憶測だ…
口に出せない


だが
用心しておくに
こしたことは無いな




・防衛を想定した訓練
・周辺への土塁の設置
・歩哨の増員
この3点を見直すべきと…
つまり 少佐は私共の働きが怠慢であると？


は!?


いやいや
いやいや


そう来るか…
そういう話ではない


今回駐留する
バーゼルラント軍は
両国友好の広告塔だ
彼等の派兵は事実上
ヴァイセン支持声明に
近い形で報道され
国内外に広く喧伝される
逆に彼等に
万一の事があれば
それは外交問題と
なるのだ

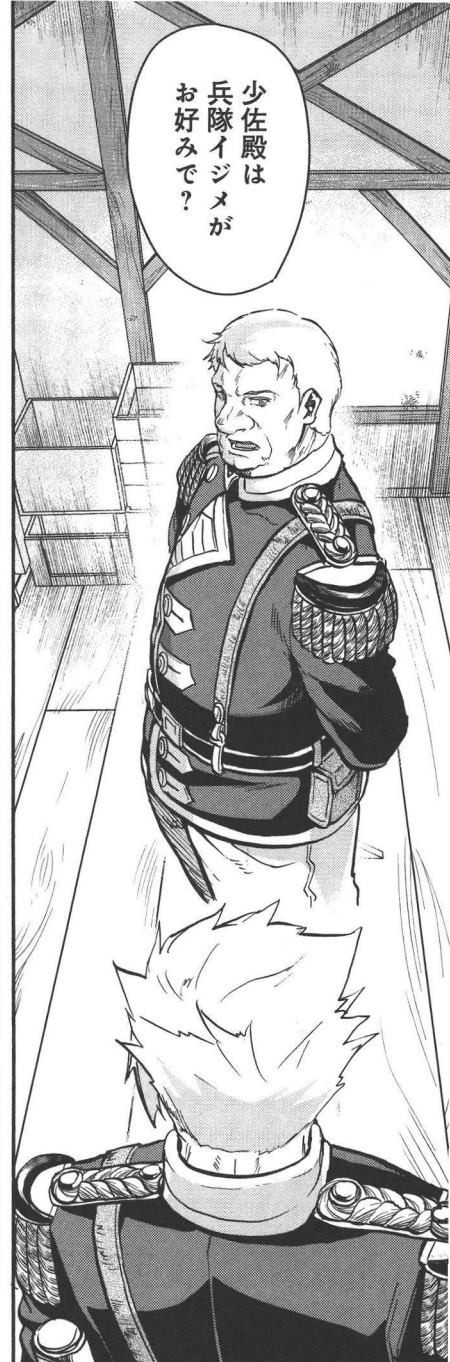

しかし 我々の本来の
任務は兵站線の維持
に過ぎません
王宮並みの警備や
要人の護衛を
求められては困ります
そういう点だけで
捉えず 例えば…
国の違う彼等と
いかに協調するか
その貴重な前例として
大切な機会であると
考えて欲しい


ふん…
政治屋らしい
物言いだ…
失礼ですが…

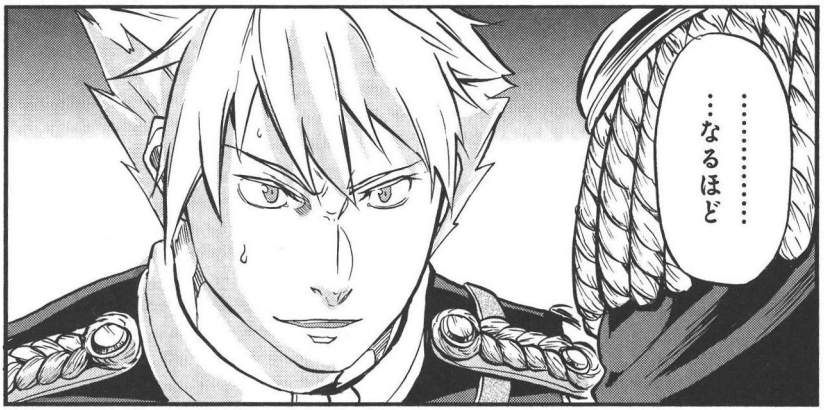

……はい？


こんな後方で長期間
前線並みの警戒をし
神経を尖らせていては
兵達を無駄に疲弊
させる事になります
それに
物々しい警護は
村の住人達との間に
不和をもたらします


我々にとって
貴方方は客人に
過ぎません


少佐殿は
兵隊イジメが
お好みで？


賓客としての
最大限の持て成しと
快適な生活は提供
させていただくが
我々を貴方の
いいように指揮
しようというのなら
受け入れるわけには
いきません


……
…なるほど


…それなら
こちらも無理強い
するつもりはない


了解した


バタン!!

良かったのですか？

……

かまわんさ

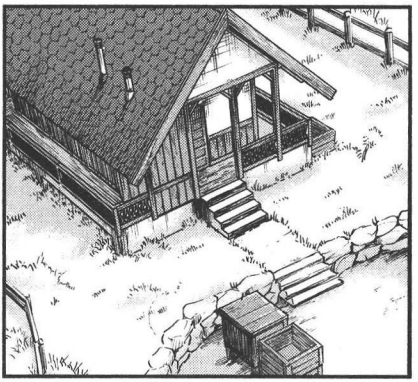
…我々が政治屋の保身に付き合う義理はない

くそ…っ！

なんだあの言いよう

これじゃ俺が現場を理解してない嫌な上官みたいじゃねぇか…！

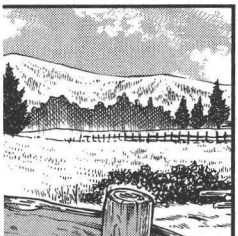

ま 当然か
突然年下の佐官が来て
あれこれ指示してきたら
現場の責任者としちゃ
たまったもんじゃない




ナダタッ
あーあ
モメちゃった


大変だよね～
若いのに
出世すると
参謀総長閣下に
目をつけられ
ちゃうし
軽口はよせ
今の所あの佐官には
閣下に報告すべき
「問題」に抵触する
言動はない


上官に対する
礼節を忘れるな
はーい




でも正直
どう思う？




あの佐官が
例の事件に
関わってるって

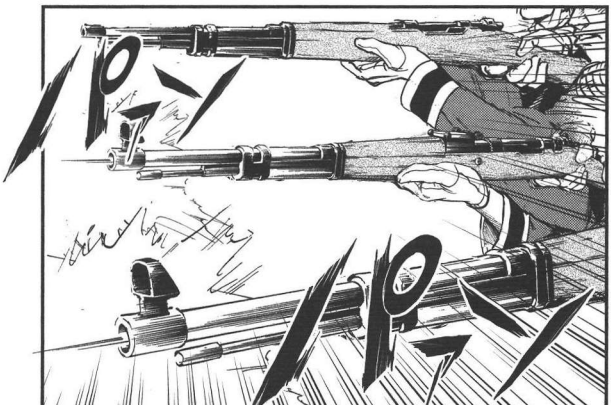

もし本当だったら
君にとっては…


……


今は私情を
挟む気はない


この村での滞在中に
あの男の本性を
見極めさせてもらう
あの男が本当に
自分の栄達のために
同胞を売る男ならば
その時は――


翌日


パァン
パァン


パパパァァァン
手元の操作で
すばやく薬莢を
装填するんだ
発砲後は
内部が熱くなる
火傷に気をつけろ


難しいな…
駄目だ
駄目！


ボスッ

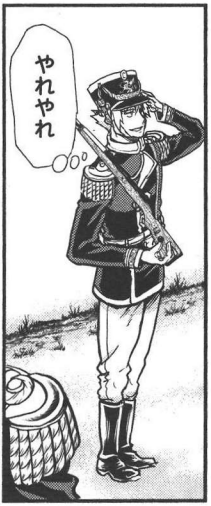

膝射姿勢は
こう！
少し窮屈だけど
腕を膝にくっつけて
固定するんだ
……
カチャ
カチ


大尉

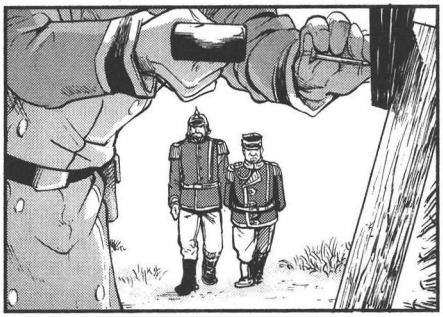

…本当に訓練をしてるのか…


合同訓練はいつでも歓迎だ
その気になったらぜひ声をかけてくれ


考えておきます

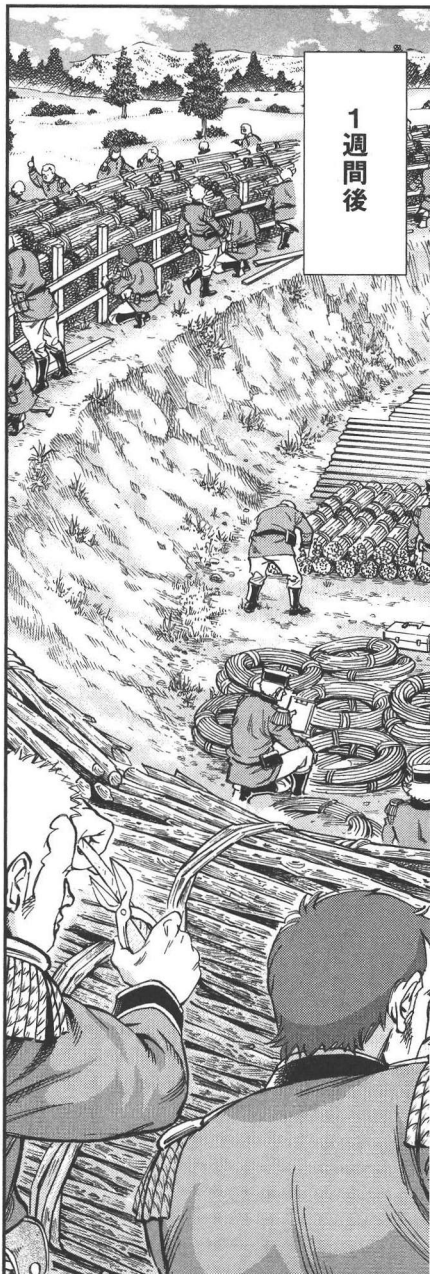

やれやれ


よーし！射撃の次は陣形だ!!
方陣は開けた地での防御に不可欠な陣形であり――
…



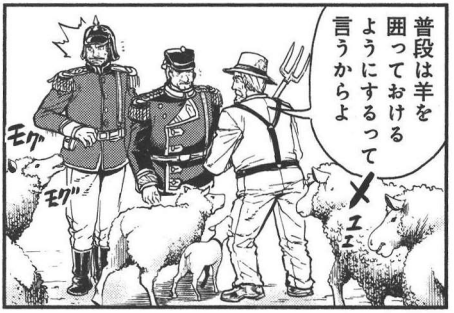

今度は何だ…
土塁作りだそうです
手薄な村の東側に遮蔽物が欲しいとのことで…

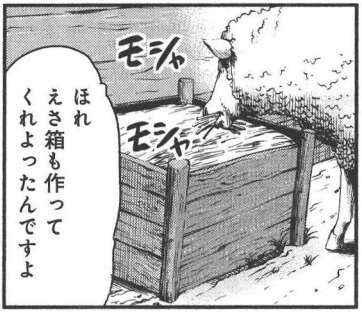

勝手な事を…
村人達の了承は得てるのか


1週間後


いや〜
ワシらは
構わんですよ
メェニェ
ベェェ…

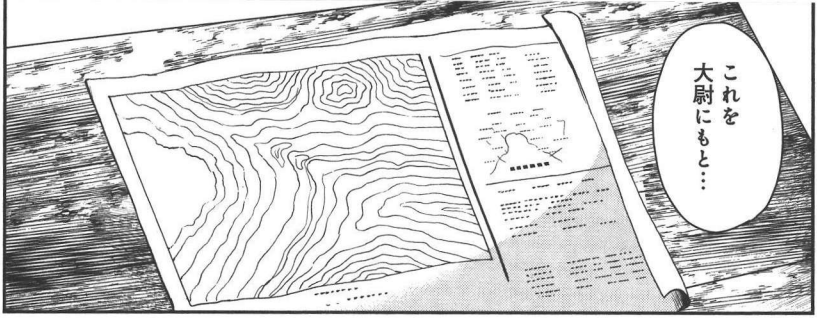



普段は羊を
囲っておける
ようにするって
言うからよ
メェェ
モグ
モグ


モシャ
モシャ
ほれ
えさ箱も作って
くれよったんですよ


……

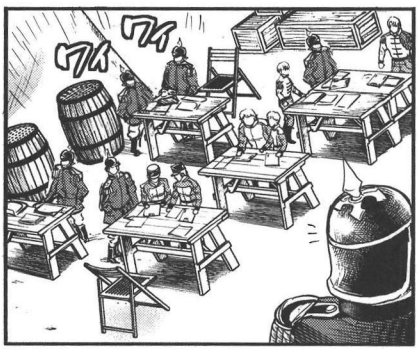

2週間後


これを
大尉にもと…


川の水深や
地形の高低の
測量結果
だそうです


…こんな
面倒な仕事を
よくやるものだ


3週間後


ワイ
ワイ

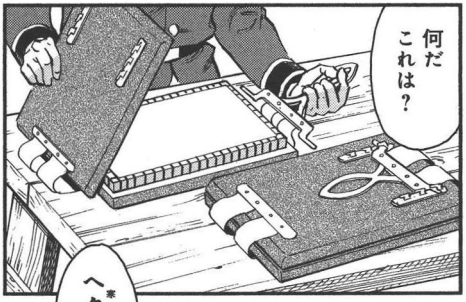

ワイ
ワイ


部下達
じゃないか


珍しいな…今日は
遊んでるのか？
…ん？


軍曹!!
お前達
何をしている


いえ…あの
これは…
その…
少佐閣下に
命令されて…


何だ
これは？


ヘクトグラフ(筆写版)だ
命令書の
複製を手伝って
もらっている


よかったら
1冊持って
いってくれ


有事の心得だの
怪我の応急処置だの…
食べられる野草だの
まぁ当たり障りの
ないものだが…
何かの役には
立つかもしれん


将校さん達は
こういう勉強
してんのか…
これ
何て読むん
ですか？


有事の
マニュアル
だと？


…あの佐官殿は
また物好きな事を…
良く出来てます
兵士達も喜んで
読んでるようで…

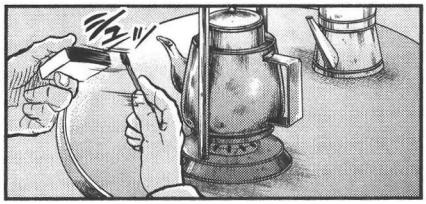

ノバサッ
文字が読める兵士が
どれだけ居ると
思ってるんだ


……


コーヒーを淹れてくれ
はい




少佐と少し話し合われては…？


シュッ


……
カチャ


我々の大隊は家族のようなものだ
軍隊は生活の場だ
家族を守るためには部外者は跳ね除けなくてはならない


コト…
どうぞ

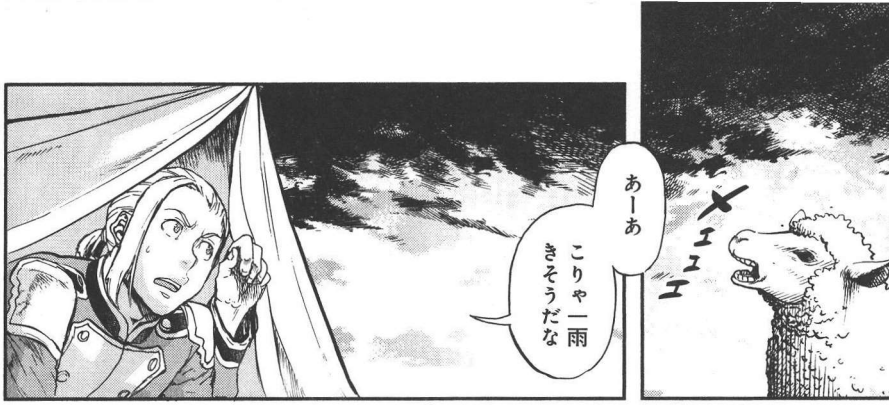



ヒュォォ…


……うん
いつも通りだ
落ち着くな…


ハァァ
アァァ…


風が強くなってきたか…
秋の嵐だけはどうにもなぁ…
ガッ
ガッ
ガッ
チッ…
ロープが緩んでるじゃねーか…
……
ア
ア
ア


メェェェ
あーあ
こりゃ一雨きそうだな


ゴロゴロ…
雷だ
ほんとだこの音だと結構近くないか？


ゴロゴロ…


外の荷物確認しといた方がいいよね
テントの中ぐじゅぐじゅになるんだよなぁ…


ドォーン…ゴロゴロ…


…光って無いぞ
ドォーン…


ゴロゴロ…
方角どっちだ？


ゴロゴロ…
…なぁ…
あのさ…


ドオ
これ本当に雷か…？
オーッ
ゴロゴロ…
ゴロゴロ…
急げ!!
お…おう!!
緊急事態だ本部に戻れ！
ダッ


ゴロゴロ…
ドォーン!!
偵察はまだ戻らんのか!?
送り出して間もないまだかかるだろう
現段階で解る状況を基準に動いておこう
顧問…
しっ…
現段階で解る…?
ああ


聞きなれた音だ
この音はまず砲撃と考えて間違いない

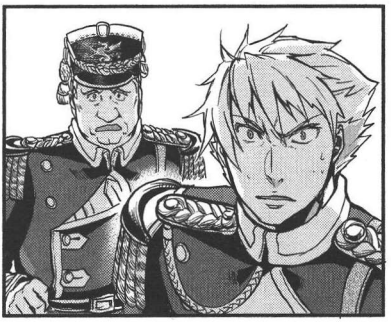

音の大きさから推測するに場所は西方向10km地点
敵海軍による港を対象とした艦砲射撃だろう
砲音が30分以上継続している点から考えて現在も港の守備兵が応戦中だ


ま…まさか!!
そんな馬鹿な事があるか!!
目と鼻の先だ私が直接確認する!!
必要無い


港は西岸沿いに
複数箇所ある
敵の目的が
港湾施設を潰す事なら
それさえ済めば
離れていくはずだ
傍観を
決め込めと？
闇雲に助けに
向かっても
港に転がる死体が
増えるだけだ
我々の任務は
この村の守備
その範囲で動く
…そうだな…
住人の避難だ
最低限の荷物で
出来るだけ海岸から
距離をとるよう
はっ！
おい
大丈夫か
アレ…
何事だ！


ドド


て…偵察…
ただ今
戻りました…
ザワ
ザワ
ザワ




軍医を
呼べ！


報告
出来るな？
はい


ホルベック軍の
大型戦艦
少なくとも2隻が
現在海上に停泊中
敵部隊の
一部が着岸…
守備隊と
陸上で交戦中
橋頭堡の
確保が目的と
思われます


……
……
つまり…
ザク
ザク
ザク


敵の大軍が
上陸中って
ことか……


ドン!!
敵艦砲射撃で
味方沿岸砲台
いずれも使用不能
ドオ
オン!!
港守備隊は
残存する兵力を再編し
海岸付近に展開
敵上陸に際しては水際での
攻撃を行う予定

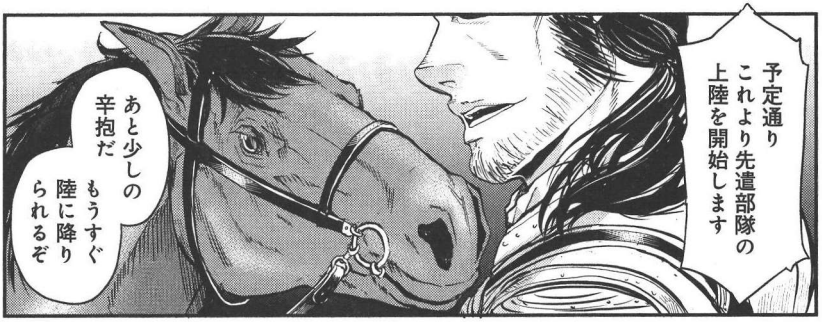
第20話 軍国軍人




ドオン
ドオン
♫ふ～ん
ふ～ん


敵沿岸砲台は砲撃を停止
現在は沈黙しています
味方の被害は
戦艦「バーサ」小破
ただし航行に問題なし


失礼します！
奇襲は成功
した模様
ふん
ふ～ん…
お～
よしよし


予定通り
これより先遣部隊の
上陸を開始します
あと少しの
辛抱だ
もうすぐ
陸に降り
られるぞ


砲撃が
止んだな…
ゴゴゴ


これより
我が部隊は
港守備隊の
救援へ向かう
敵の目的は
兵員と物資の
揚陸を行う
港湾施設の確保だ
何としても
水際で喰いとめ
港を死守せねば
ならん!!
待つんだ!


先遣部隊の目的は
海岸堡を築くこと…
港だけでなく
この村を含め
周辺の敵勢力の排除を
行うはず
港の防衛は
あちらの守備隊に任せ
我々はこの村の防備を
固めるべきだろう


今打って出れば
上陸中の無防備な敵に
仕掛けられる
この機を逃す
手はない！


無防備…？
さっきの砲撃音で
わかるだろう
敵軍は上陸にも
相応の火力支援を
用意している！

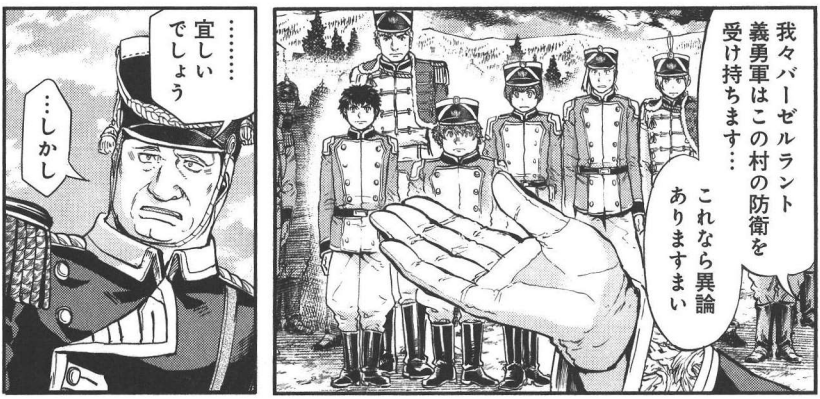

助けに向かいたく
なる心情は解るが
無闇に出ていっても
仕方ない
感情に流されて
判断を誤らぬよう




今の少佐は
バーゼルラント
義勇軍の参謀では？


我々への
指揮権が無い
部外者である事を
お忘れ無きよう


……では
こうしましょう
港には大尉達
だけで向かって
いただきます
おい！


我々バーゼルラント
義勇軍はこの村の防衛を
受け持ちます…
これなら異論
ありますまい
……
宜しい
でしょう
…しかし


目の前に敵が迫り
味方が危機に瀕(ひん)している
のだ
助けに行かずに
どうする
人格を切り離し
理に従うのが
軍国の将校では
無かったのか？


……
わからんな…
なぜ大尉に反対した？
港の防衛を第一に考える判断は間違ってないだろう？
それに…この村を防衛するにも我々だけでは難しいだろう


こんな村いざとなれば捨ててけばいいんですよ


この男…はなから味方も港も見捨てる気だったのか…？
賓客の安全


国益を
顧みるなら
それが第一です


万が一にでも貴方が
戦死したり捕虜にでも
なろうものなら
バーゼルラントとの
同盟にヒビが入り
我々は同盟国の王族も
守れぬ軍隊として
周辺友好国からの信頼と
威信を同時に失う

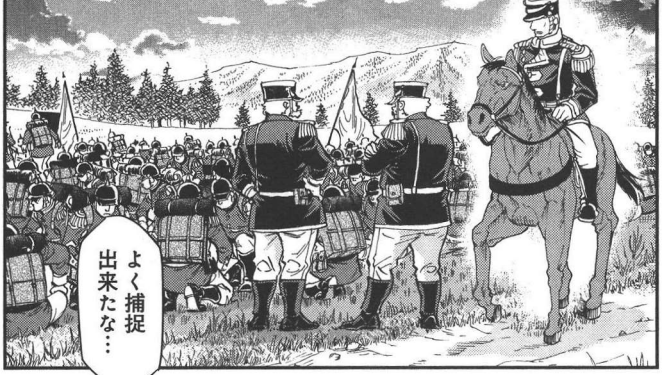

高度な
政治的問題だと
ご理解下さい


理解は出来るが
気に入らん

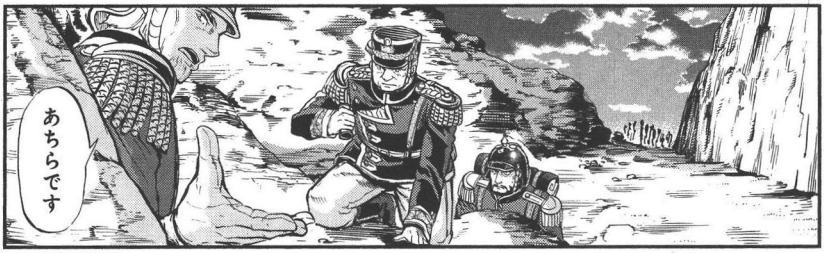

…当然です
自分でも
胸糞悪い

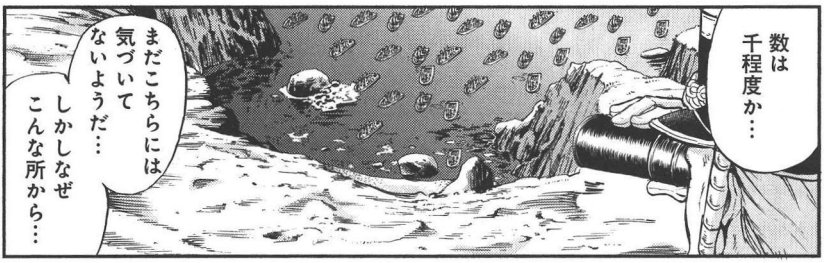

……


…とはいえ
撤退するにも
我々だけでは
心もとない


よく捕捉出来たな…


状況を判断しての帰還を願うばかりだ…


あちらです


数は千程度か…
まだこちらには気づいていないようだ…
しかしなぜこんな所から…


おそらく港の側面に奇襲をかける算段なのでしょう
ここの沖は水深が浅く大型船は近づけませんが喫水の浅いボートなら比較的楽に兵を上陸させられます


岸まで100m
高さは30m
今この位置関係なら一方的に狙える…
敵軍は上陸にも相応の火力支援を用意している！
あの佐官…!!
ギリッ
千載一遇のチャンスではないか…？
感情に流されて判断を誤らぬよう


大尉達は大丈夫かなぁ…
…出立からもう3時間か
ギィ
確かに心配だな…

のうのうと留守番しながらする心配じゃないな

バルツァー少佐は危険と言いながら大尉達だけ向かわせたんだ

君らの安全の犠牲としてな

そう悲観するなっての

ああは言っても陸上で動く軍に対して海上からの砲撃なんてそうそう当たるもんじゃないんだ

そうなのか？

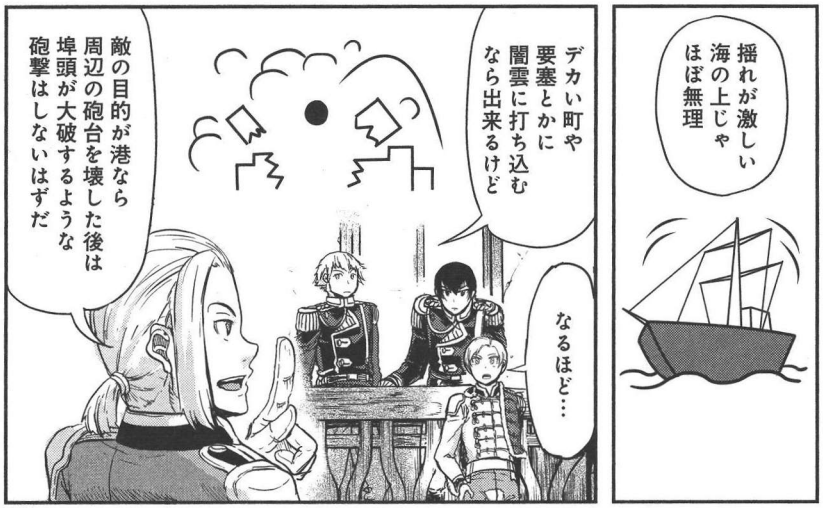
まぁな

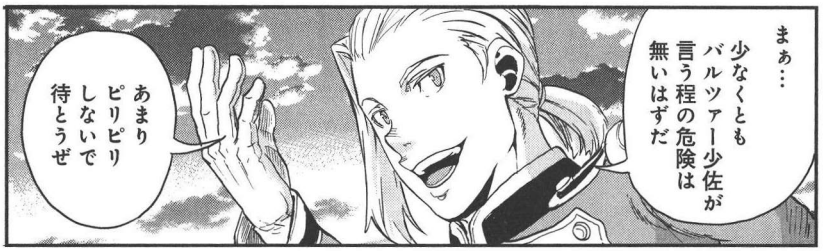
戦艦同士の戦いって基本デカい船に向かって真横からぶち込むだろ？

直接照準射撃っていうんだけどこれは喫水線付近を狙うだけだし目分量と経験測でいけるんだ…

陸を攻撃するにはそれより難易度が高い間接照準射撃が必要になる

曲射弾道の計算とか複雑な工程をクリアしないと出来ない上に角度や火薬の量が少し違うだけで全く着弾点が変わる


揺れが激しい
海の上じゃ
ほぼ無理
デカい町や
要塞とかに
闇雲に打ち込む
なら出来るけど
なるほど…
敵の目的が港なら
周辺の砲台を壊した後は
埠頭が大破するような
砲撃はしないはずだ


まぁ…
少なくとも
バルツァー少佐が
言う程の危険は
無いはずだ
あまり
ピリピリ
しないで
待とうぜ


ハンニバル


パーン
パーン
いいぞ…
いける…！
いいぞ!!
撃て撃て!!
うわあああー！
がっぐあ!!

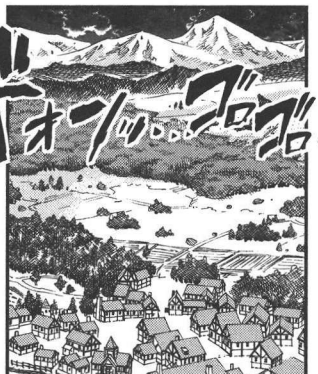

ふん…
調子に乗って
喰いついたか
味方に多少犠牲が
出ても構わん…
…やれ
ザァァン…
ザァァン
敵は逃げ腰だ
徹底的に撃て!!


ドォン




顧問！
この音って
さっきの




ドォン…ゴロゴロ…




目先の敵に釣られて海岸に出たか
最悪だ…




多分…大尉達はやられている


嫌な予感は的中するな…
くそっ!!
上等だ


ははははは!!
ははは!!


ドォンッ…ゴロゴロ…
これより厳戒態勢に入る！
村の周囲500m哨戒線の強度を高めろ

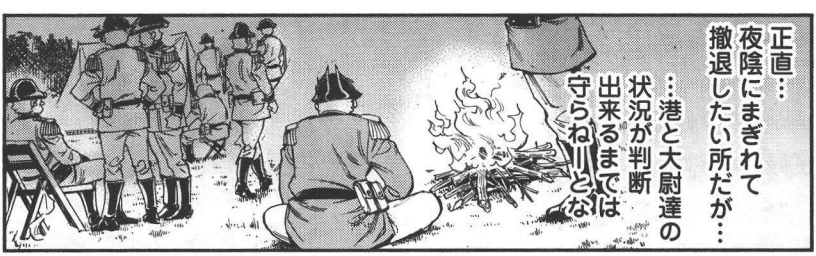

ドォンッ…ゴロゴロ…
ユルゲンとヘルムートは哨所に馬を走らせろ!!


おい
この状況は大丈夫なのか？


とはいえ相手は地形も把握してない暗い間の襲撃はまずないはずだ…
持ち場を確認次第兵達に食事をとらせておけ


ご安心下さい
村の周囲500mに
哨戒線を設け
いつどの方向から
敵が来ても
事前に察知し
対応出来るように
してあります

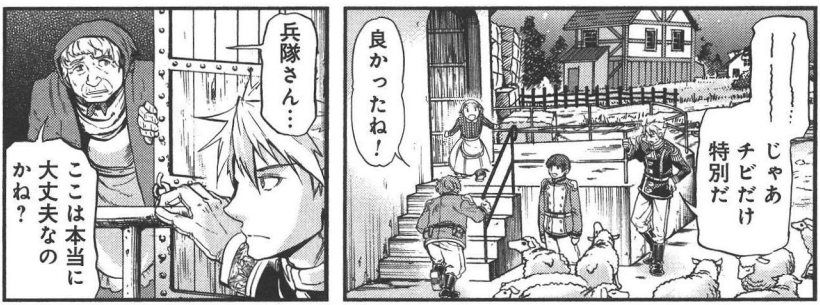

ただ明日から
少々忙しく
なるかと…
殿下も今のうちに
身体を休めて
おいて下さい

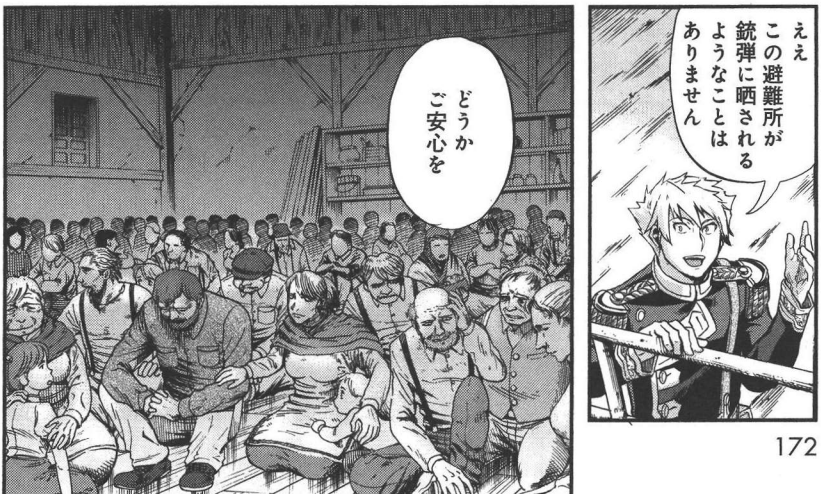

正直…
夜陰にまぎれて
撤退したい所だが…
…港と大尉達の
状況が判断
出来るまでは
守らねーとな


メエー

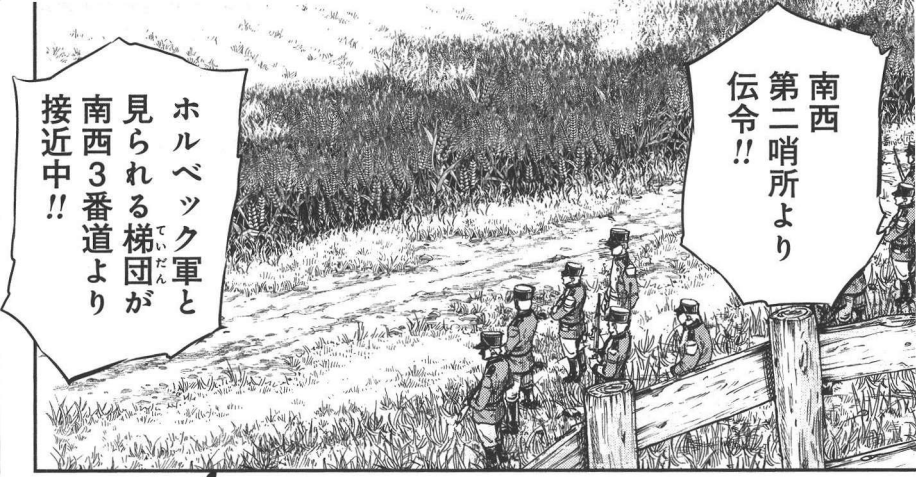

おい
何やってんだ!


この子達も避難させようと思って
ダメだダメだ羊なんて外で平気だろ
…でも
もし敵が来たら危ないよ…
それにあの子達が心配してて…


――――……じゃあチビだけ特別だ
良かったね！
兵隊さん…
ここは本当に大丈夫なのかね？


ええこの避難所が銃弾に晒されるようなことはありません
どうかご安心を


報告!!
ガガガ


南西
第二哨所より
伝令!!
ホルベック軍と
見られる梯団(ていだん)が
南西3番道より
接近中!!


数は!?
つかみで500!!
影も形も
見えないな
望遠鏡でも
見えないや……


……麦畑に
隠れて来る
でしょうか?
ああ
間違いねぇ


1m以上の丈がある
大麦の穂は
身を屈めた兵隊を
完全に覆い隠す
全体の布陣も
彼我の距離も
把握し辛い……


街道沿いの
移動に10分
梯団の横列への
隊形変換に5分
畑に潜んでの
接敵前進で5分てとこか

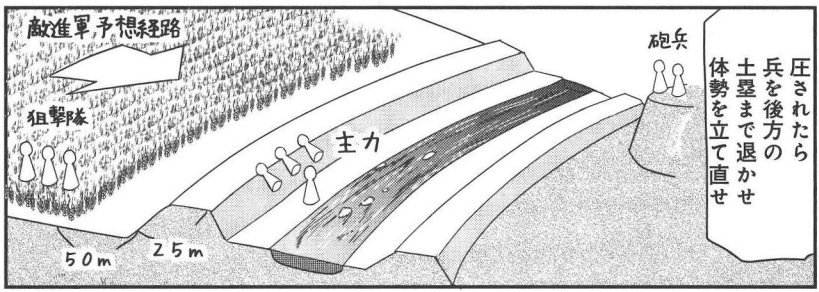
有余は10分
それまでに部隊の
戦闘準備を終了させる!!

お前達3人は
歩兵3個分隊と共に
側面からの
陽動を兼ねた
援護射撃だ

開始は
主力部隊の
発砲を待て

パウルとユルゲンは
歩兵1個分隊を随伴し
左後方で砲撃準備

残りは主力となる
歩兵3個小隊と共に
中央の土手に
伏射姿勢で待機



圧されたら
兵を後方の
土塁まで退かせ
体勢を立て直せ



だが村内での戦闘は
可能な限り避けたい
外で敵を食い止めろ

行け!!


静かなのが不気味だな…
本当に…来てるの？
ナ!!
ナ!!
まだ遠いな…
あと60秒我慢だ…
……50…
散発的な攻撃では敵の警戒を招き結果、長時間の泥沼化を招く
…20…


しっ…
静かに
よく見ると
麦の穂が
動いてる
射角
2つ上
ナ!!ナ!!
…10
…9…
ギリギリまで
引き付けて
一気に倒す
カナッ!!

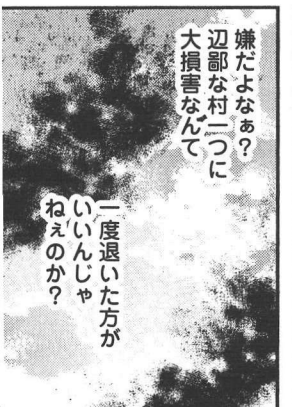

撃て!!
カイッ
カン
カン
パパパン
パパパン
ドン
パパン




な…
なんだと！
こんな所に
防衛線が
敷いて
あるとは…


決まった!!
モロに
入った!!


壊滅的ではないが
少なくとも指揮官は
責任を追求される
程度の損害だ

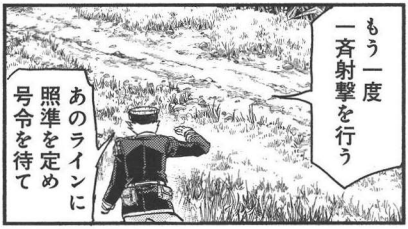

嫌だよなぁ？
辺鄙な村一つに
大損害なんて
一度退いた方が
いいんじゃ
ねぇのか？


まずい…勢いが止まってない
とにかく撃ち込め
くそっ…早い…!!
方位修正…!!
銃撃の構えも見せず完全に白兵戦の構えだ…
玉砕を覚悟する状況じゃねぇだろうに…
…これはやっぱり…


戦場での死を至高の誉れとする伝統の一斉突撃!!
怯むな!!
ホルベックの武威を示せ!!
7年前の戦争はそれで大敗しただろ!
何も学んでねぇのかよ!!
くそっ…脳筋相手はやりづれぇ!!
ライフルの優位性を頼みにいっそ各自で連発させるべきか…


伏せろ！
次弾装填!!
あの連中の
勢いを止めるためには
撤退を判断させるための
「印象付け」の方が必要だ


……いや
…待て
慌てるな
さっきの1発目だって
相当な数を削いでるんだ


もう一度
一斉射撃を行う
あのラインに
照準を定め
号令を待て

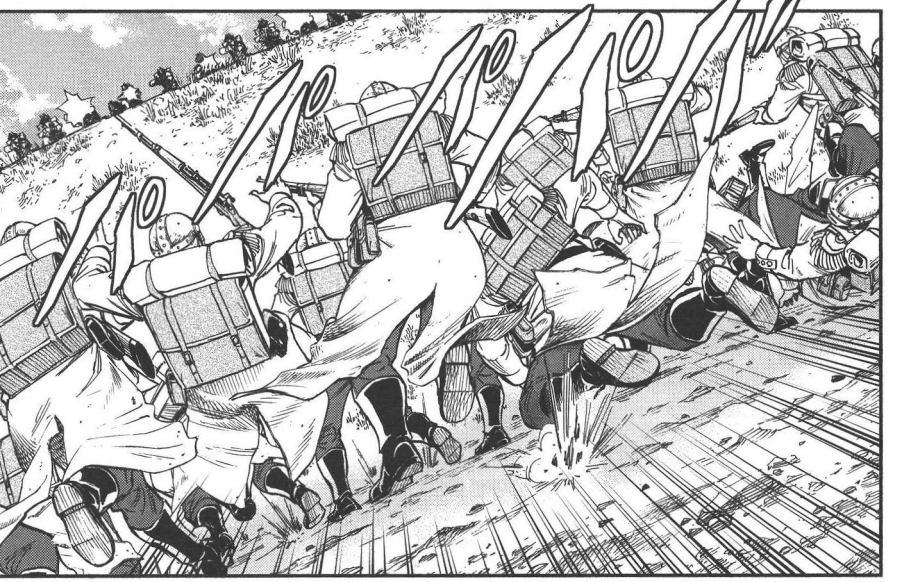

そ…
そんな!!
あ…あんな
近くで!?




少佐！
まだですか!?
もうすぐ
そこに!!


傾斜を上る瞬間
一瞬足が詰まり
失速する


撃て!!


パパパパ


着剣!!
ガッ
チャ…
どうだ…?
これで
駄目なら
連射の後
白兵戦だ


ラッパ手！後退だ！
後退！
くそ!!
く…
ファッパラパッ
ドドドド
プァッパパラー
よし…
バルツァー顧問!!
ま…まだ…


まだ
こっちに
向かって来る
奴等が…!!
命令が
聞こえて
いない!?
連発!
撃ち掛かれ!
パパパッ
でも
上手く当たらな…
う…撃って
ます!!
ダァーン!!
あと2人で…
1人…
バッ




ワアアアアア






大尉
何をやって
いるんですか
早く
撤退を!!

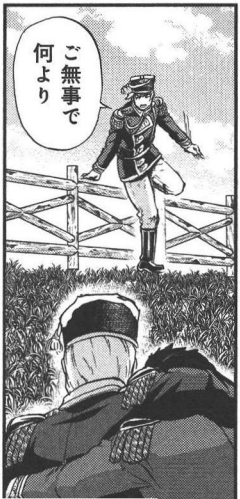

散歩がてら
見物に来た
だけのつもりが
いいモノが見れた
今の
指揮官だろうな


…




被害は軽微…
敵さんの突撃の
おかげかもな


ピ
チャッ
ガン
ガン


ご無事で
何より




少佐！


あちらに…
ああ


た…
頼む…
助けてくれ!!


海岸付近に…
合流出来なかった
者達がまだ沢山いる
怪我で
動けない者も…


彼等の救援に
向かって
くれ…!!

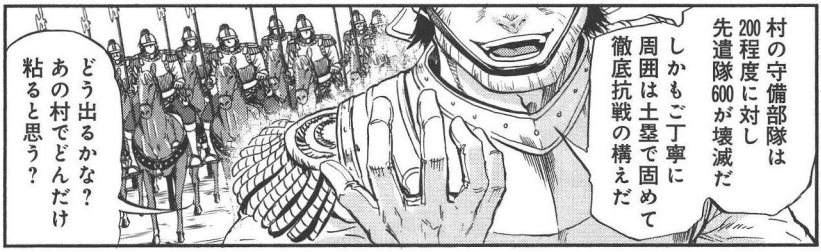

この通り
だ…!!
ドサッ

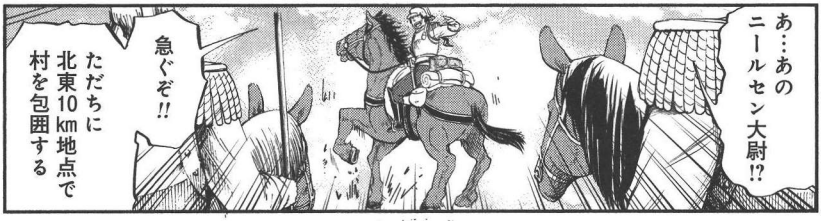

…残念ですが…


先ほどの戦闘中
敵軽騎兵を
確認しました
そこから
判断するに
敵はすでに…


くー…
たまらん
ねぇ!!

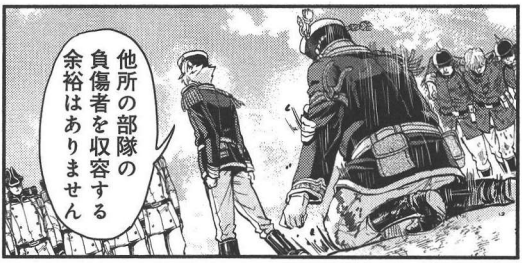

港を確保し
相当数の部隊を
上陸させていると
思われます


村の守備部隊は
200程度に対し
先遣隊600が壊滅だ
しかもご丁寧に
周囲は土塁で固めて
徹底抗戦の構えだ
どう出るかな?
あの村でどんだけ
粘ると思う?


あ…あの
ニールセン大尉!?
急ぐぞ!!
ただちに
北東10㎞地点で
村を包囲する


「理性の軍隊」だとか
薄ら寒い標榜
掲げてる
ヴァイセンにも


なかなか良い
戦争屋がいそう
じゃないか
港が落ちた以上
この村の
戦略的価値は
失われた
我々義勇軍は
ただちに
撤退します


他所の部隊の
負傷者を収容する
余裕はありません


そんな！


……いや
あの佐官が
正解だ…


我々は最早
足手まといでじか
ないのだ…
すまない
皆…


…バルツァー
少佐…


私は判断を誤り
部隊を犠牲にして
しまった…
挙句この怪我では
まともに指揮が
とれる状態ではない
せめて
この場の兵達
だけでも…


私の指揮権を
貴官に移行する
感情を切り離し
理に従う——
思えば無慈悲な
標榜だ
だが今は
その範の如き男に
頼るほかないのだ…




……
了解した
これより
バーゼルラント
義勇連隊及び
ヴァイセン第17大隊の
撤退を開始します

軍靴のバルツァー④ 完



暮らしのワンポイント

作中設定紹介ページ

16話



↑作中では接待として一浴場と隣接するホテルを週間貸切

作中設定

●高級温泉地　Quelle-Baden（クヴェレバーデン）

紀元前70年から約2千年近い歴史を誇る高級温泉保養地。
そして、高級カジノ（最低掛け金100万円から）やブティック、宝石店や高級ホテルが並ぶ高級リゾート地でもある。

ヴァイセン国内のみならず、大陸各国の要人が私的に訪れるため政治的な密談の舞台になる事が多い。

入浴の作法が厳しく「私語禁止」「必ず10分かかる」など細やかなルールがまっている。
浴場によっては、完全にプログラム化された手順に沿って決められた時間で決められた浴室を回らされる所もあるそして、基本的に混浴。
…全く落ち着ける気がしない



リアルドイツ式

●狩り出し猟の流れ

●狩猟開始前
お把文の狩猟地では、狩猟場を管理してる狩猟員が何日も前から獲物に目星をつけて準備

●狩猟当日
主催者とゲスト様が揃う。
彼らは銃を持って見晴らしの良い場所で待機。
その間に、狩猟員や勢子達が大勢で森に入り、ホルンで合図をとりつつ猟犬や物音で獲物を広場に追い出します。

ゲストは、森から追い出された獲物を撃つ（勢子や狩猟員を撃たないように注意！）

一撃でしとめられなかった獲物は狩猟員が槍やナイフでとどめをさす

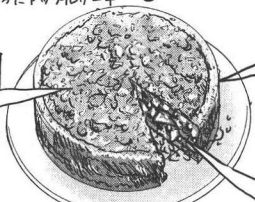
●狩猟後の儀式
獲物のランク順に木枝の緑葉の上に敷き詰めホルンで獲物の栄誉を称える曲を演奏。
獲物に最敬の念を捧げるために傷の血に浸したマツなどの枝を「枝折」として、この日一番の獲物を仕留めた射手に手渡し帽子に刺す。

今回の狩猟ファッション没案
定番の半ズボン→

Streuselkuchen（シュトロイゼルクーヘン）

17話

サクサクのクッキー状のそぼろがかかったアップルケーキ
パウルの家のパン屋の人気商品



●シュトロイゼル生地
小麦粉…150g
バター…80g
砂糖…50g
シナモンパウダー…小さじ2

バターに砂糖と小麦粉とシナモンを混ぜてソボロ状にする（練りこまないように！）

●ベース生地（まぜて敷く）
小麦粉…300g　イースト…10g
砂糖…40g　牛乳…100g
卵…1個　バター…50g

●中身の果物など
りんご…2個スライス
アプリコットジャム…大匙2
黒すぐり…100グラム分ぐらい
レモン汁…適量かける

だいたい180度のオーブンで20分ぐらい焼く
（コゲそうになったらアルミホイルをかぶせて？）

ひまし油

トウゴマの種から作った油
下剤として薬局で売ってます



飲みすぎると酷い下痢になるため徴兵逃れに使われたそうです。

最近は手作り石鹸の材料として売られていたりしますね。



18話

バーゼルラント派遣義勇連隊編成表

■連隊長兼中隊長
・アウグスト王子
・随行員5人
（副官、執事、専用徒兵3人内1人は王子の馬担当）

この時代は有効な野戦治療が出来ないので、衛生兵はいないようです。
教練になった場合は後方に野戦病院を作り、負傷した兵士を担架兵が運ぶことになります

■連隊副官（号令、実質の計算官）
・パレッサー少佐　（徒兵1名）

■軍医　1名（助手1名）

■中隊本部（中隊の運営を行う）
・計算補佐・人事　士官候補生2名　曹長1名（合計3名）
・部隊衛兵站担当　軍曹1名　（中隊の兵站一般、荷馬車・天幕管理など）
・弾薬補給担当　軍曹1名　（中隊の弾薬管理）
・武器担当　軍曹1名　（中隊の銃の修繕・予備などの管理）
・主計担当　軍曹1名　（中隊の経理担当）
・主計補佐　伍長1名　（主計担当の補佐）
・ラッパ手　兵士1名

表向きの箔付けのために「連隊」と銘打ったが見ての通り総員200名程度の編成だ実質的には中隊規模だな

■各小隊　（1個小隊の兵士は、それぞれさらに3個分隊に分かれる）
・小隊長　士官候補生1名
・小隊計算補佐　曹長1名（小隊長補佐実質的な兵士掌握を行う）
・分隊長　軍曹1名及び伍長2名
（各分隊を計算の第一分隊長・軍曹、第2,3分隊長・伍長）

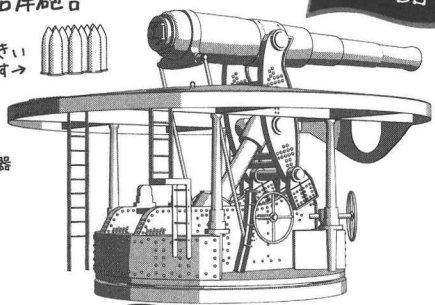
・兵士　33-35名（1個分隊は10-12名）

19話

ヴァイセン製12トン沿岸砲台

- 後装式砲
- 口径　200mm
- 有効射程　7500m
- 砲口初速　630m/秒

弾も大きい榴弾です→



ヴァイセン陸軍による海岸防衛のための兵器
ホルレバック湾の攻撃に備え、東側沿岸に
集中的に配備されている。
側面のハンドルを回すことで、
発射角を調整したり、
砲を収納したり、せりあがらせたり
自由自在に調整が出来る優れもの！

靴磨きセット

士官の靴をピッカピカに磨くための専用ボックス
埃を落とし、布で磨き、色つきクリームをブラシで塗り
また再度布でツヤが出るまで磨く。
最後に靴底に油を染みこませ、防水保護して完成



作中では軍曹が大尉の靴を磨いてましたが
媚びらせやイビリの類ではなく、
あれも下士官の重要な仕事なのでした。
下士官が士官の身の回りの世話をするのは
いたって普通の事なのです。



階級の簡単説明

元帥＞大将＞中将＞少将＞准将＞大佐＞中佐＞少佐＞上級大尉＞大尉＞中尉＞少尉

↓出自の壁

お家柄が教育が必要 ← → 現場のたたき上げ

曹長＞軍曹＞伍長

バルツァー

20話

世界最長の木造軍艦



ホルレバックは伝統的に海軍の権力が強く
また、近年の植民地争奪戦の過熱の影響で
戦艦建造に力を入れている
特に目を引くのが大型の木造軍艦達

機走フリゲートなので、無風時や出入港時に
補助動力のスクリューでの航走が可能

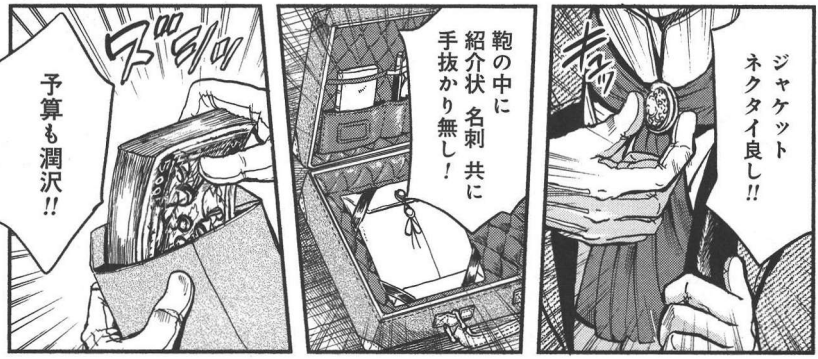
全長70m重量約2000トン
世界最大級の木造軍艦だ!!

ヴァイセン軍人手帳



将校の装備品は、支給ではなく自前で仕立てるものが
多い。その中で、手帳は珍しく完全な官製の支給品。
身分証明やパスポートや給与明細などを全て兼ねている。
バルツァーは自前でカバーをかけて常に携帯している
(紙製素紙の汚れ防止&人目に晒し過ぎないように)

「軍人の手帳っつーと中に作戦とか書くの？」と思ってたのですが
身分証明も兼ねてるので、盗難や紛失で作戦が敵にスルバレ！
なんて事態になりかねないため、
作戦だけは絶対に書かないんじゃないかな～とのこと。


ジャケット
ネクタイ良し!!
キッ
鞄の中に
紹介状 名刺 共に
手抜かり無し!
ズ
予算も潤沢!!


どっから
どう見ても完璧な
上流階級(ジョントルマン)紳士だ
ふっふっふ…


準備は
万端整った
カッ


いざ
赴かん!!
高級娼館!!
Apfelblüten
halle
訳・「林檎の花の館」
Apfelblüten
halle
特別編


…って
気合い入れる程の
店じゃないと
踏んでたんだが――


思ったより上質な
店じゃねーか
隣国のドミモンドの
色合いが強いのか


バーゼルラントは
医療や衛生面でも
後進的だ
くれぐれも
現地の風俗店には
気をつけておけよ
わかってるとは思うが…

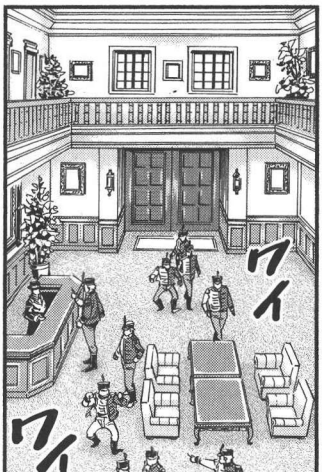

なんて言ってたが…
ま大丈夫
そうだな


今のお時間でしたら
選りどり見どり
ですわよ
お好きな娘と
ご一緒下さいな
そりゃ
嬉しい


そんー
そうだなー
ささ
どうぞ奥へ


ギロ


ガヤガヤ
げ…！
生徒（ガキ）ども!!
ドカドカ


ワイ
ワイ


親の仕送りで悠々女遊びか
金持ってんだろうな…


気づかれてないようだな
クソ御子息共め…


キラキラ
またいらして下さったのねぇ
はっはっ
キラ


……教頭…
ハッ
…顧問殿!?
こんな所で何を…!?
生徒も教員も常連ですか…


こ…これもまた紳士には必要な嗜みであり…!
ただ遊んでるわけでは…
仰る通りで


トポポ…


パシャ
パシャ…


ビクッ
？
……
どうなさったの？
悪いな 今日は止めだ 安心しろ金は払う
え？
そ…そんな！
バタン

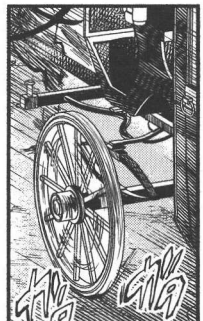

ダッ ダッ ダッ
ダッ ダッ ダッ


よく見りゃ
他の女や客も挙動が
アレじゃねーか
ボリッ
ゼン…


唇のできもの
リンパ節の腫れ
局部の痒み
下にも腫れ物が
あったから
ほぼ間違いない


この店は
梅毒(シフィリス)の
温床だ!!
ゾッ…


数日後




お…おい
アレ…


ガラガラガラ
ドドドドドド
困ります
そんな急に!!
何だね
無礼な!!
ハハハ


これより
店内一斉
疫病検査を
行なう!!


これは君達の
健康を守るための
義務と権利である!
全員速やかに
検査員と医師の
指示に従うように!!


ちょっと！
乱暴に
しないでよ！
別室には
必ず二人ずつ
連れて行け
ダダ捏ね
ないの！
客も今すぐ別室で
検査を受けてもらう
店の受付 事務方
警備員 美容師
世話係も当然
検査を受けるように
今日来てない客は
顧客名簿から連絡を
失礼な!!
な…
何だね!!


ふーやれやれ
まこんな
もんか


……
というわけで
検査対応の許可
ありがとう
ございます！
ドキッ
生徒も感染してる
可能性があるとなれば
野放しには出来ません
からな
衛生局との交渉は
骨が折れましたが…
その通り
です!!


例えば戦時中なども
駐屯地の周りには自然と
売春宿が集まるものですが
衛生管理を怠ると
疫病の温床になります
やはり常に軍隊側で
適切な検査員と予防薬を
用意しておくべきでしょう


やだよぉ
私絶対に検査
ひっかかる〜!!
ふえええ


大丈夫よ！
全身に水銀を
塗れば治るって
お医者様が…
何だよ そのヤブ療法!!
さらっと怖いこと言うな!!
ちゃんと
お薬も支給
しますから!!


後日
いやー
実に爽快!!

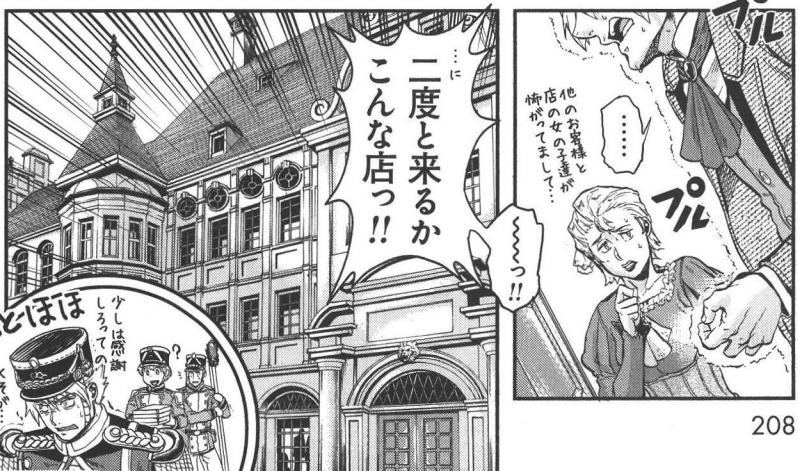

生徒も店も客も
早期発見と治療で
スッキリ全快！
命拾いしたな
ぎぎ
俺は感染して
ないようだし
良い事した後は
気分がいいぜ！


♪
こりゃもう俺は
あの店にとって
救世主ってな
もんだよな


さーて
万難排した所で…
ゆっくり
楽しんで
来ますかな！


は…
はぁ!?
ピクッ
ピク


Kein Zutritt fur
Weißensoldaten!
(訳)ヴァイセン軍人の
入店は固くお断り
いたします


プル
他のお客様と店の女の子達が怖がってまして…
……
プル
〜〜〜っ!!
……に
二度と来るか
こんな店っ!!
どほほ
少しは感謝しろってのー
?
?
くそが…

軍靴のバルツァー
第5巻
奔れ!!
最も過酷な撤退戦が幕開ける!!
来夏発売予定!!

BUNCH COMICS

軍靴のバルツァー ❹

初出:月刊コミック@バンチ2012年2月号及び8月号～2013年1月号

発行 ——— 2012年12月15日　初　版
2013年 1 月30日　第3刷

著者 ——— 中島三千恒（なかじま みちつね）

発行者 ——— 佐藤隆信

発行所 ——— 株式会社 新潮社
〒162-8711 東京都新宿区矢来町71
読者係 TEL.03-3266-5111
@バンチ編集部
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-42 神楽坂喜多川ビル7F
TEL.03-3266-5350
http://www.shinchosha.co.jp/

印刷・製本 ——— 大日本印刷株式会社

デザイン ——— ARTEN／石川照美

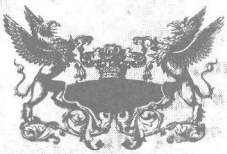
設定協力 ——— 白土晴一

© Michitsune Nakajima 2011,Printed in Japan

この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件等には、いっさい関係ありません。
乱丁・落丁本は、ご面倒ですが小社読者係あてにお送りください。
送料小社負担にてお取替えいたします。価格はカバーに表示してあります。

本書の一部または全部をコピー、スキャン、デジタル化等、無断複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

ISBN978-4-10-771690-3 C9979



士官学校教官として赴いたバーゼルラントにて、王族同士の派閥争いに本格的に巻き込まれてゆくバルツァー少佐。政争の中、その軍事と政略の能力を買われ、バーゼルラント第二王子から自らの参謀にと勧誘されるバルツァーだが…。仇敵リープクネヒトの暗躍や大国間の思惑が交わり第二次ノルデントラーデ戦争が勃発!! 小国の派閥争いから端を発して事態は急転し、バルツァーは生徒達と共に戦場へ向う!!

ISBN978-4-10-771690-3
C9979 ¥552E

9784107716903

1929979005528

定価:本体552円(税別)

雑誌　47557-98

